

平成15年度

携帯電話・パソコン 使用実態調査報告書

宮城県PTA連合会 健全育成委員会

あ い さ つ

宮城県PTA連合会

会長 勅使瓦 正樹

昨今の携帯電話・パソコンの急速な普及により、現在の情報化社会においてそれらの機器は確実に存在価値を表しています。確かに利便性があり大変有効ではありますが、使い方によってはいろいろな課題をはらんでいることは十分承知のことと思います。しかし、現在の普及率からそれらの機器の利用について否定することは出来ない状況であり、正の側面と負の側面をしっかりと理解し使いこなしていくことが重要と考えます。

今では全国的な携帯電話やパソコン利用についてのアンケート結果を新聞等で目にする機会はありませんでしたが、身近な問題として捉える事が出来なかったと思われず。

現実的な子どもたちの携帯電話の利用についてこんなことが思い当たらないでしょうか。

“誰と電話しているのかわからず親が交友関係を把握できない”“いつでも連絡できると思っているが、子どもは都合が悪いときは着信を無視する”等です。また、携帯電話でいつでも友達とコミュニケーションができる生活が当たり前になりすぎ、携帯電話が身近にないと落ち着かない、イライラしてしまうといった「ケーチュー」(携帯電話中毒の略)になる危険もあります。必ずしも親が望んでいた利用の仕方とは食い違いがあるのではないのでしょうか。

今回の結果は宮城県内1,185名の中学生の協力により現実的な実態が把握出来たのではないかと思います。今回の調査結果を基に子どもたちを取り巻く環境が大都市と多少の違いがあるようですが、興味や好奇心からさまざまなサイトへアクセスするケースが見受けられるようです。子どもたちが、携帯電話やパソコンを使いインターネットを介し出会い系サイトやポルノサイトへのアクセスによる事故や事件が起きないよう実態を把握し、それらの機器の利便性と課題をそれぞれのPTAもしくは家庭で話し合いを持たれ認識を深められて、今後の健全育成活動の一助にいただければと考えます。

最後に、今回のアンケート調査にご理解とご協力を頂きました1,185名の中学生・中学校・PTAの皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

出会い系サイトの実態

お金になるなら援助交際も

話5000円、それ以上なら4万円

「家庭での目配りが大切」専門家指摘

仙台市3区女子
赤十字に聞く

出会い系サイトの利用が急増していることが、仙台市赤十字病院の調査で明らかになった。調査対象となったのは、仙台市3区に在住する女子中学生で、その数は1185名に達した。調査の結果、出会い系サイトの利用は、仙台市3区に在住する女子中学生の約1割に達していることがわかった。また、出会い系サイトの利用は、仙台市3区に在住する女子中学生の約1割に達していることがわかった。また、出会い系サイトの利用は、仙台市3区に在住する女子中学生の約1割に達していることがわかった。

17歳少年買春あつせん

「出会い系」中3女子を紹介の疑い

仙台市3区に在住する17歳の少年が、出会い系サイトを介して未成年の少女と知り合い、買春行為を行ったことが明らかになった。少年は、出会い系サイトを介して知り合った少女と知り合い、買春行為を行ったことが明らかになった。少年は、出会い系サイトを介して知り合った少女と知り合い、買春行為を行ったことが明らかになった。

目 次

会長あいさつ

調査の概要

1 調査の目的	---	P1
2 調査対象		
3 調査内容		
4 調査方法		
5 調査実施期間		

調査結果の概要

問1 自分で使える携帯電話をっていますか。	---	P2
問1-1 携帯電話を持たない理由。	---	P3
問2 携帯電話を持ったのは、いつ頃からですか。	---	P4
問3 どうして携帯電話を持つようになったのか。	---	P5
問4 携帯電話利用料金は、1か月どのくらいですか。	---	P6
問5 利用料金は、誰が払っているのですか。	---	P7
問6 自分の携帯電話の利用料金をどう思うか。	---	P8
問7-1 携帯電話をどのくらいかけますか。	---	P9
問7-2 携帯電話でメールをどのくらい送りますか。	---	P10
問8 知らない人から電話やメールが来たことがありますか。	---	P11
問9 携帯電話をどのような時に使いますか。	---	P12
問10 携帯電話をどのように利用していますか。	---	P13
問11 携帯電話の利用について、いけないと思うこと。	---	P14
問12 自宅に自分で自由に使えるパソコンがありますか。	---	P15
問13 自由に使えるパソコンは、自宅のどこにありますか。	---	P16

問14 パソコンで何をしますか。	---	P17
問15 携帯電話はパソコンでインターネットを利用した ことがありますか。	---	P18
問16 「ポルノサイト」を見たことがありますか。	---	P19
問17 「ポルノサイト」を何で見ましたか。	---	P20
問18 「ポルノサイト」を見てどう思いましたか。	---	P21
問19 「出会い系サイト」をどう思いますか。	---	P22
問20 「出会い系サイト」にアクセスしたことがありますか。	---	P23
問21 「出会い系サイト」について、どうして知りましたか。	---	P24
問22 「出会い系サイト」を利用した理由。	---	P25
問23 「出会い系サイト」を利用したのは、何からですか。	---	P26
問24 「出会い系サイト」を何回利用したか。	---	P27
問25 「出会い系サイト」で知り合った人に合ったことが ありますか。	---	P28
問26 「出会い系サイト」で合った人の年齢。	---	P29
問27 実際に合って人とどのようなことをしましたか。	---	P30
問28 「出会い系サイト」を利用して、今どう思っていますか。	---	P31
問29 携帯電話やインターネットの利用で困っていること。	---	P32

コラム

「出会い系サイト」を通じて知り合い、実際にその人と合った 解答した中学生5名の調査票の内容	---	P33
--	-----	-----

調査用紙

あとがき

・健全育成委員会 委員長

P40

調査の概要

1 調査の目的

現在の情報社会において、携帯電話やパソコンは利便性があり大変有効であるが、その使い方によっていろいろな課題をはらんでいる。

その一つとして青少年が、携帯電話やインターネットを介したいわゆる「出会い系サイト」へのアクセスによる事故や事件が多発している。特に携帯電話やインターネットは、その利用実態が不明確なため、多くの親や大人、青少年指導者等に不安を募らせているのが現状である。

そこで、昨年度(社)青少年育成国民会議で調査した「青少年有害環境対策推進研究報告書」を基に、県内における中学生の携帯電話・パソコン使用実態を把握し、分析し、PTA会員の皆様方にその現状を知ってもらい今後の青少年健全育成の一助にと願ひ報告書を作成した。

2 調査対象

調査対象は、県内14中学校に依頼し、それぞれの中学校各学年2クラスとした。

	男子	女子	計
1年生	177名	192名	369名
2年生	203名	196名	399名
3年生	207名	210名	417名
計	587名	598名	1185名

3 調査内容

携帯電話の使用実態

パソコンの使用実態

インターネットの使用実態

「ポルノサイト」や「出会い系サイト」へのアクセスの実態

主な設問項目

- ・ 携帯電話やパソコンの所持と利用状況
- ・ 携帯電話に関するマナーと意識
- ・ 「ポルノサイト」へのアクセスの実態と意識
- ・ 「出会い系サイト」へのアクセスの実態と意識
- ・ 携帯電話やインターネット利用に際して困っていること

4 調査方法

- ・ 無記名
- ・ 調査票を調査対象校へ送付
- ・ 調査票の取りまとめは調査対象校へ依頼
- ・ 本人以外内容を見ることが出来ないよう、調査票を封入貼付し回収

5 調査実施期間

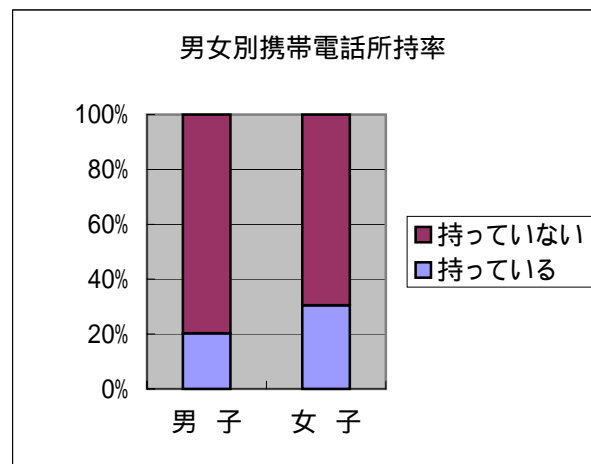
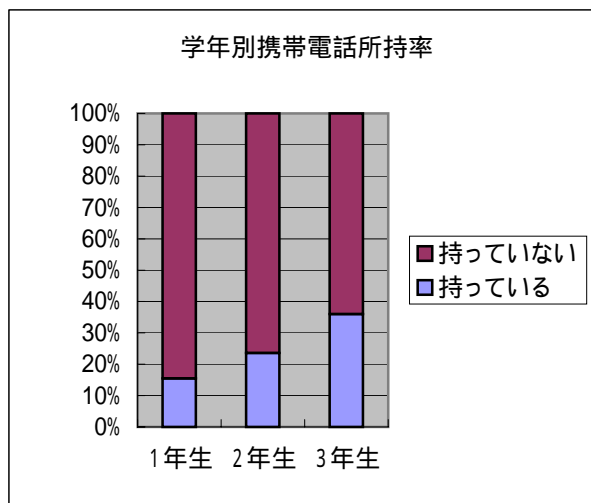
平成15年10月1日 ~ 10月17日

問1 あなたは、自分で自由に使える携帯電話を持っていますか。

	持っている	持っていない	総数
1年生	57	312	369
	15.4%	84.6%	100%
2年生	94	305	399
	23.6%	76.4%	100%
3年生	150	267	417
	36.0%	64.0%	100%
男子	119	468	587
	20.3%	79.7%	100%
女子	182	416	598
	30.4%	69.6%	100%
総数	301	884	1185
	25.4%	74.6%	100%

(国民会議調査)

男子	42	124	166
	25.3%	74.7%	100%
女子	60	83	143
	42.0%	58.0%	100%



今回の調査では、全体の25.4%が携帯電話を所持しており、学年が上がるとともにその所持率も上がり、3年生では全体の36%に達する。また、男女別では女子の所持率が男子を10ポイント程度上回る。

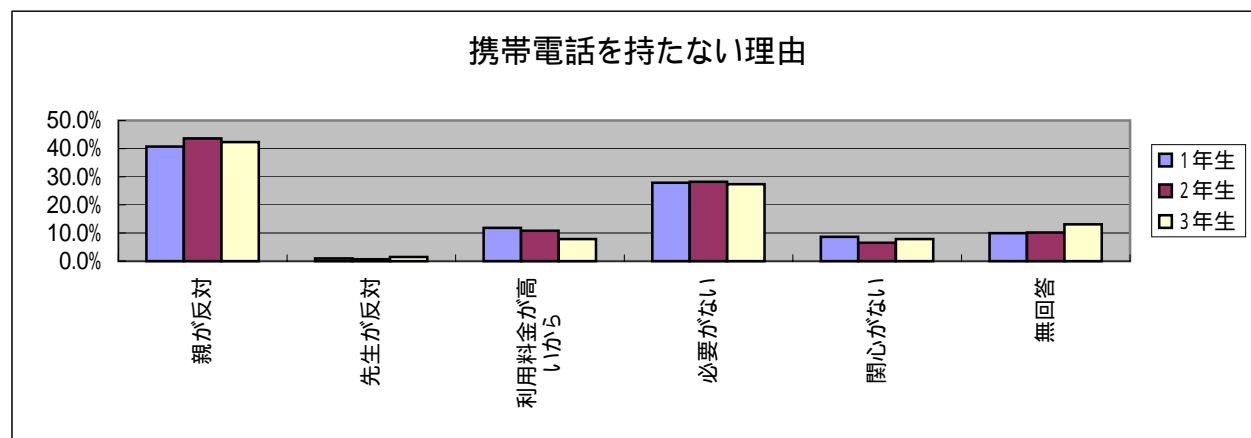
(社)青少年育成国民会議(以下「国民会議という。’)で調査した結果と比較すると中学男子の25.3%に対し5ポイント程度下回る。同様に女子も42%に対し10ポイント程度低い結果となっている。

今回の調査時期は、10月であったが、卒業入学を期に所持率がかなり上がるのではと予想される。

問1 - 1 携帯電話を持たない理由

	親が反対	先生が反対	利用料金が 高いから	必要がない	関心がない	無回答	総数
1年生	127	3	37	87	27	31	312
	40.7%	1.0%	11.9%	27.9%	8.7%	9.9%	100%
2年生	133	2	33	86	20	31	305
	43.6%	0.7%	10.8%	28.2%	6.6%	10.2%	100%
3年生	113	4	21	73	21	35	267
	42.3%	1.5%	7.9%	27.3%	7.9%	13.1%	100%
男子	146	7	44	162	43	66	468
	31.2%	1.5%	9.4%	34.6%	9.2%	14.1%	100%
女子	227	2	47	84	25	31	416
	54.6%	0.5%	11.3%	20.2%	6.0%	7.5%	100%
総数	373	9	91	246	68	97	884
	42.2%	1.0%	10.3%	27.8%	7.7%	11.0%	100%

男子	32	1	11	52	16		112
	28.6%	0.9%	9.8%	46.4%	14.3%	0.0%	100%
女子	46		14	14	3		77
	59.7%	0.0%	18.2%	18.2%	3.9%	0.0%	100%



携帯電話を持たない理由としては、学年による大きな差はない。

各学年共に「親が反対しているから」という理由が40%以上と最も多い。

中学生は、親の影響が大きく、持たない(持てない)理由になるものと思われる。このように持たせながら親が相当数いる一方、問3持った理由に「親に持たされた」という子供も数多くおり持たせることで安心したい親心が見えかくれる。

次いで「自分には持つ必要がない」という理由が続く。「利用料金が安いから」という理由では、若干ではあるが学年が上がるにつれて減少する傾向にあり、使用できるお小遣い等の額に影響されているものと推測される。

携帯電話を持たない理由については国民会議の調査とほぼ同様の傾向にある。

問2 携帯電話を持ったのは、いつ頃からですか。

	小4前	小5	小6	中1	中2	中3	無回答	総数
1年生	3 5.3%	7 12.3%	17 29.8%	29 50.9%			1	57
2年生	2 2.1%	4 4.3%	18 19.1%	37 39.4%	33 35.1%		0	94
3年生	2 1.3%	0 0.0%	5 3.3%	38 25.3%	51 34.0%	47 31.3%	7 4.7%	150
男子	4 3.4%	2 1.7%	18 15.1%	38 31.9%	27 22.7%	23 19.3%	7 5.9%	119
女子	3 1.6%	9 4.9%	22 12.1%	66 36.3%	57 31.3%	24 13.2%	1 0.5%	182
総数	7 2.3%	11 3.7%	40 13.3%	104 34.6%	84 27.9%	47 15.6%	8 2.7%	301

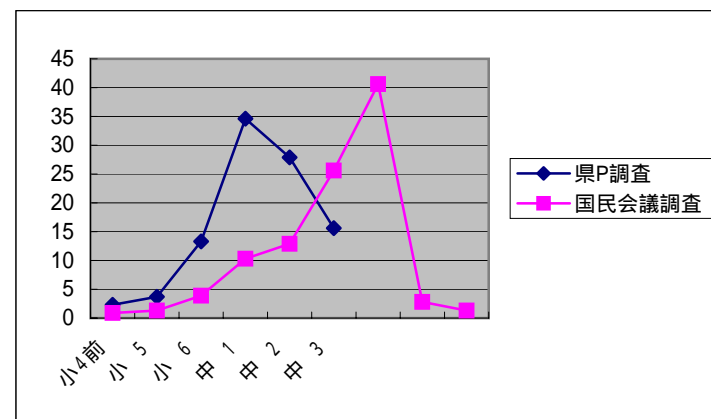
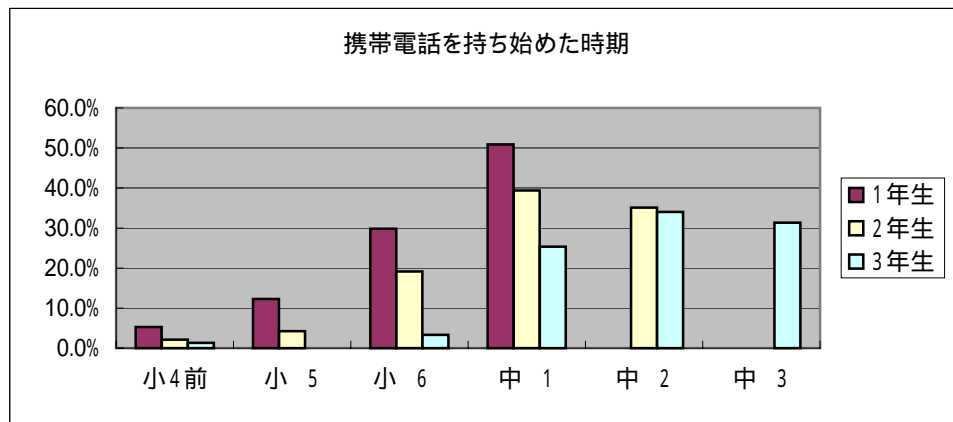
(国民会議調査)

県P調査	2.3	3.7	13.3	34.6	27.9	15.6		
国民会議	0.9	1.3	3.9	10.3	12.9	25.6	40.6	2.8

携帯電話を持ち始める時期は、低学年ほど早期に持ち始める傾向にあり、これは携帯電話の普及率に影響されているものと思われる。また、持ち始める時期として最も高いピークを示しているのは、中学1年であり中学入学が携帯電話所持の契機となっていることが伺われる。

中学校入学と前後して部活動や学習塾等で夜遅くなる機会が増えることが一つの要因になっているのではないだろうか。また、「親子割引」で格安に利用できるということも拍車をかけている一因であろうか。

国民会議の調査では、高校一年生の時から持ち始めたとする回答が急激に伸びることからも、卒業、入学が携帯電話所持の契機になっていると考えられ、今回の調査で中学3年生時の割合が下がっているものの、卒業時期が近くなるにつれて所持し始める生徒が多くなるものと予測される。



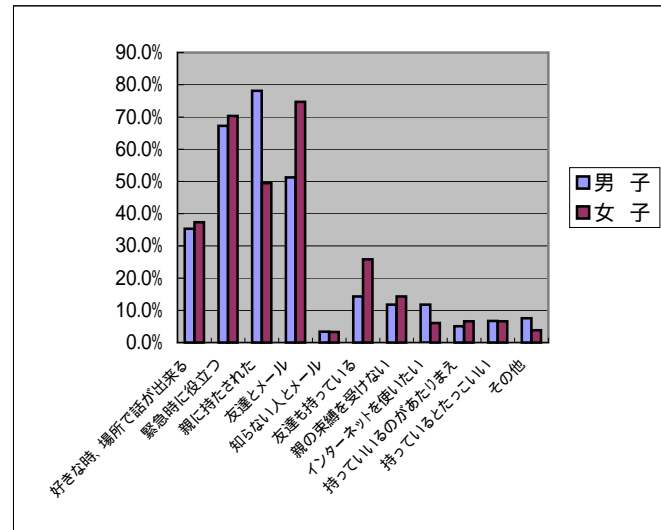
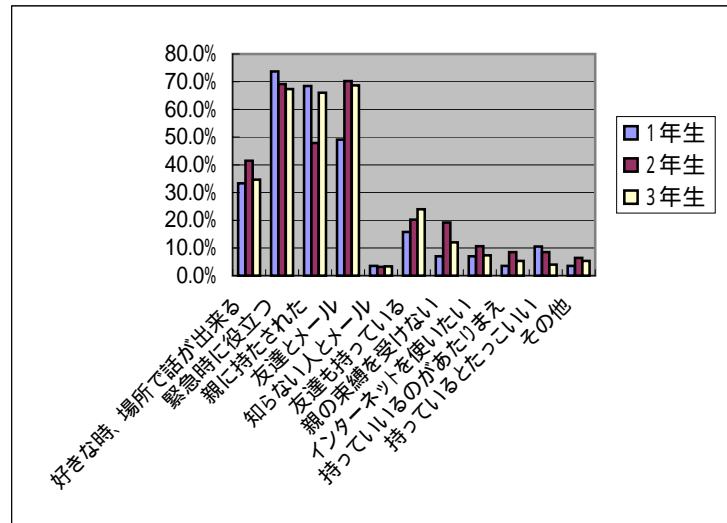
問3 どうして携帯電話を持つようになったのか。(複数回答)

	好きな時、場所で話ができる	緊急時に役立つ	親に持たされた	友達とメール	知らない人とメール	友達も持っている	親の束縛を受けない	インターネットを使いたい	持っているのがあたりまえ	持っているとなっ こいい	その他	総数
1年生	19 33.3%	42 73.7%	39 68.4%	28 49.1%	2 3.5%	9 15.8%	4 7.0%	4 7.0%	2 3.5%	6 10.5%	2 3.5%	57 100.0%
2年生	39 41.5%	65 69.1%	45 47.9%	66 70.2%	3 3.2%	19 20.2%	18 19.1%	10 10.6%	8 8.5%	8 8.5%	6 6.4%	94 100.0%
3年生	52 34.7%	101 67.3%	99 66.0%	103 68.7%	5 3.3%	36 24.0%	18 12.0%	11 7.3%	8 5.3%	6 4.0%	8 5.3%	150 100.0%
男子	42 35.3%	80 67.2%	93 78.2%	61 51.3%	4 3.4%	17 14.3%	14 11.8%	14 11.8%	6 5.0%	8 6.7%	9 7.6%	119 100.0%
女子	68 37.4%	128 70.3%	90 49.5%	136 74.7%	6 3.3%	47 25.8%	26 14.3%	11 6.0%	12 6.6%	12 6.6%	7 3.8%	182 100.0%
総数	110 36.5%	208 69.1%	183 60.8%	197 65.4%	10 3.3%	64 21.3%	40 13.3%	25 8.3%	18 6.0%	20 6.6%	16 5.3%	301 100.0%

携帯電話を持つ理由として、学年別、男女別ともに「緊急時に役立つ」「親に持たされた」「友達とのメール」が多かった。

学年別比較で傾向が現れた回答は「友達も持っている」とする理由で、学年が上がるにつれ所持率も上がることから、自分も持ちたいと思うものと推察される。

男女別比較では「親に持たされた」という理由が男子で29ポイント高く、逆に女子では「友達とメール」が23ポイント、「友達も持っている」が10ポイント男子を上回る。

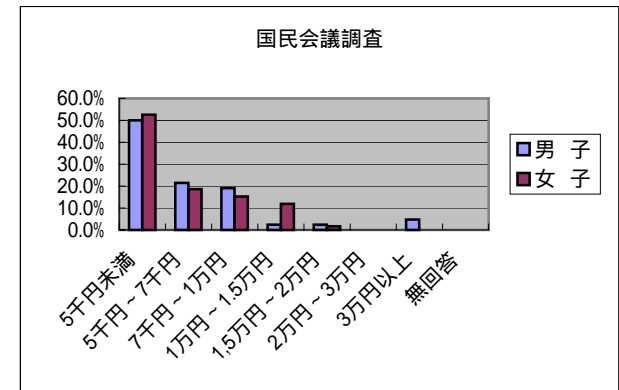
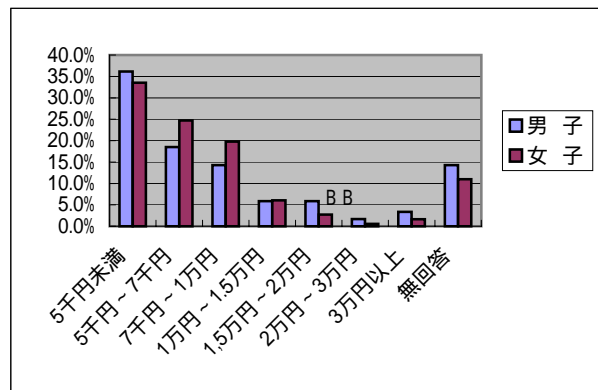
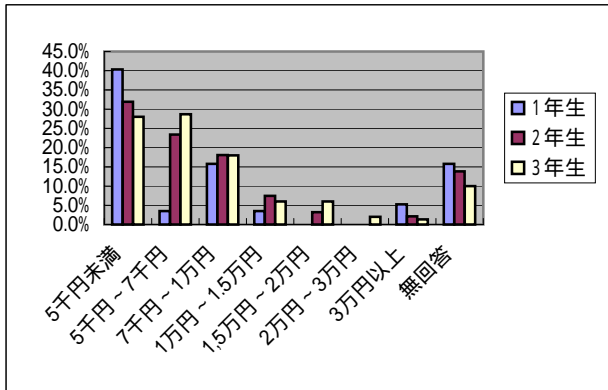


問4 あなたが使っている携帯電話料金(基本料金含む、以下同じ)は、1ヶ月あたり、どれくらいですか？

	5千円未満	5千円～7千円	7千円～1万円	1万円～1.5万円	1.5万円～2万円	2万円～3万円	3万円以上	無回答	総数
1年生	23 40.4%	2 3.5%	9 15.8%	2 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.3%	9 15.8%	57 100.0%
2年生	30 31.9%	22 23.4%	17 18.1%	7 7.4%	3 3.2%	0 0.0%	2 2.1%	13 13.8%	94 100.0%
3年生	42 28.0%	43 28.7%	27 18.0%	9 6.0%	9 6.0%	3 2.0%	2 1.3%	15 10.0%	150 100.0%
男子	43 36.1%	22 18.5%	17 14.3%	7 5.9%	7 5.9%	2 1.7%	4 3.4%	17 14.3%	119 100.0%
女子	61 33.5%	45 24.7%	36 19.8%	11 6.0%	5 2.7%	1 0.5%	3 1.6%	20 11.0%	182 100.0%
総数	104 34.6%	67 22.3%	53 17.6%	18 6.0%	12 4.0%	3 1.0%	7 2.3%	37 12.3%	301 100.0%

利用額については、全体では「五千円未満」が最も多く、利用額高くなるにつれて減少するが、全体の約75%は1万円以下の利用額となっている。
 また、学年別では中学3年生のみ「5千円～7千円」が「5千円未満」を上回る。男女別では「5千円～7千円」、「7千円から1万円」で、それぞれ6ポイント程度女子が男子を上回る。また、3万円以上の利用者が中学1年で5%程度いることに注視したい。
 携帯電話を所持した途端、金額を意識せず、いきなり高額請求書が来たと言う失敗談をたまたま耳にする者が、この回答者の3万円以上の利用者は恒常的にこの金額を使用しているのだろうか。
 又、親としてそのことに対して対処しているのだろうかという疑問がわく。
 国民会議の調査と比較してもほぼ同様な傾向がある。

男子	21 50.0%	9 21.4%	8 19.0%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	2 4.8%	0 0.0%	42 100.0%
女子	31 52.5%	11 18.6%	9 15.3%	7 11.9%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	59 100.0%



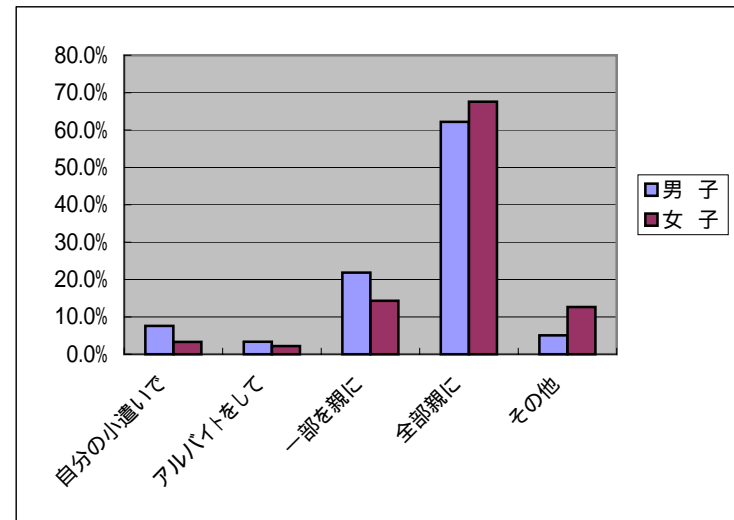
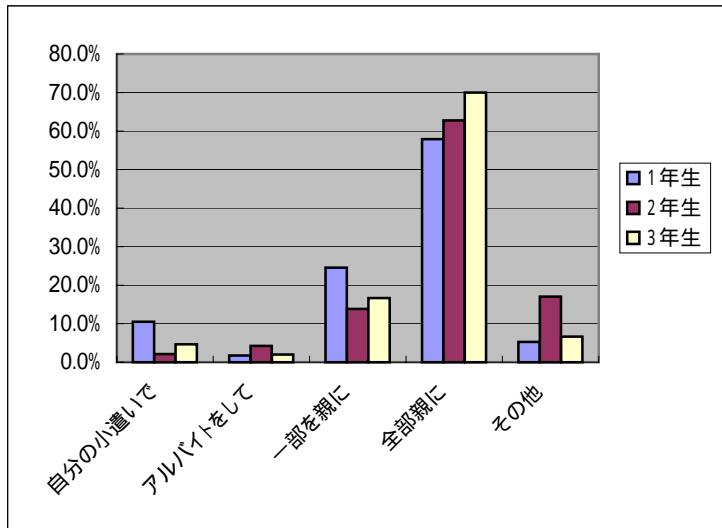
問5 利用料金は、誰が払っているのですか。

	自分の小遣いで	アルバイトをして	一部を親に	全部親に	その他	総数
1年生	6 10.5%	1 1.8%	14 24.6%	33 57.9%	3 5.3%	57 100.0%
2年生	2 2.1%	4 4.3%	13 13.8%	59 62.8%	16 17.0%	94 100.0%
3年生	7 4.7%	3 2.0%	25 16.7%	105 70.0%	10 6.7%	150 100.0%
男子	9 7.6%	4 3.4%	26 21.8%	74 62.2%	6 5.0%	119 100.0%
女子	6 3.3%	4 2.2%	26 14.3%	123 67.6%	23 12.6%	182 100.0%
総計	15 5.0%	8 2.7%	52 17.3%	197 65.4%	29 9.6%	301 100.0%

利用料金の支払いについては、全体の65.4%が親が支払っている。学年別に見ると3年生の70%が全額親が支払っている。

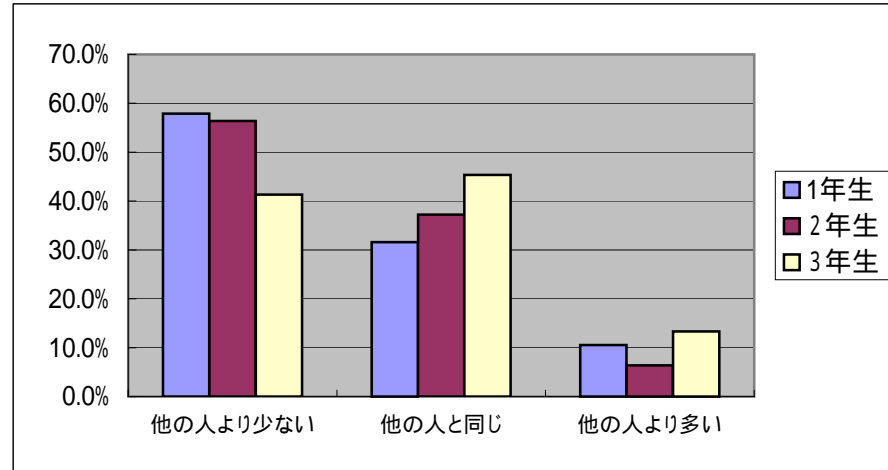
国民会議の調査では、中学生は78.4%が全額親が支払っており、アルバイトをして支払っているという回答は0であったが、今回の調査では8名がアルバイトをして支払っている。

中学生のアルバイトは原則として禁止されているが、唯一認められているのは新聞配達であろうか。自分の小遣いにしても元来親が出していることを再確認したい。



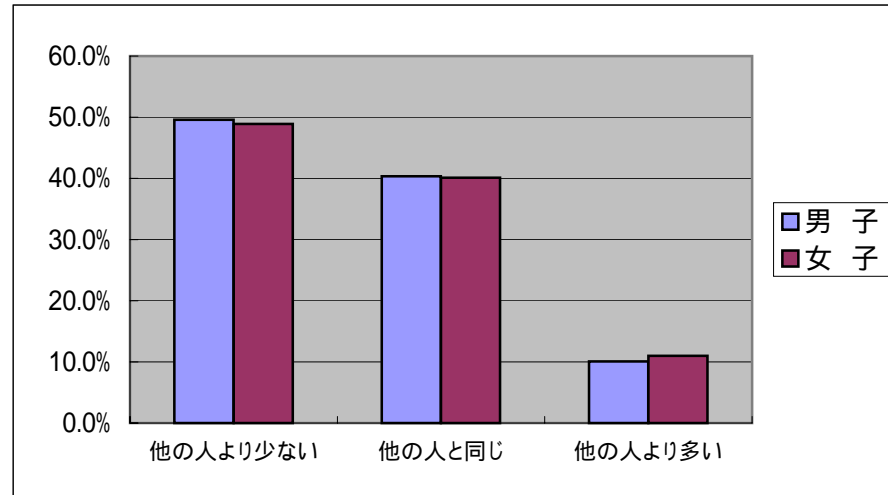
問6 自分の携帯電話の利用料金をどう思うか。

	他の人より少ない	他の人と同じ	他の人より多い	総数
1年生	33 57.9%	18 31.6%	6 10.5%	57 100.0%
2年生	53 56.4%	35 37.2%	6 6.4%	94 100.0%
3年生	62 41.3%	68 45.3%	20 13.3%	150 100.0%
男子	59 49.6%	48 40.3%	12 10.1%	119 100.0%
女子	89 48.9%	73 40.1%	20 11.0%	182 100.0%
総数	148 49.2%	121 40.2%	32 10.6%	301 100.0%



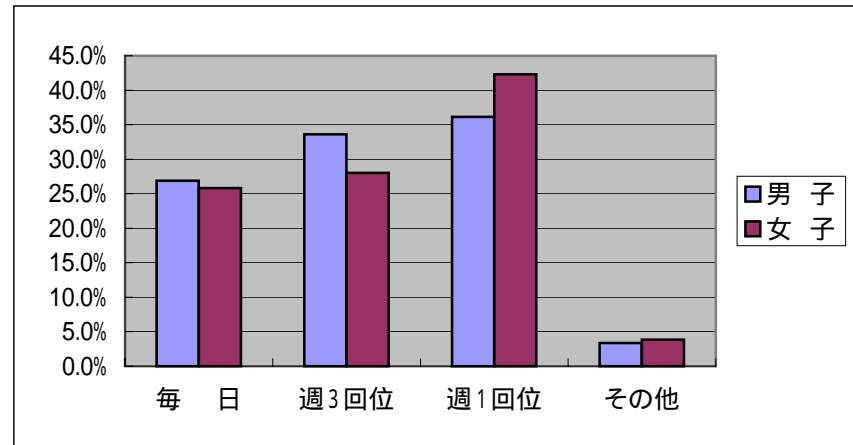
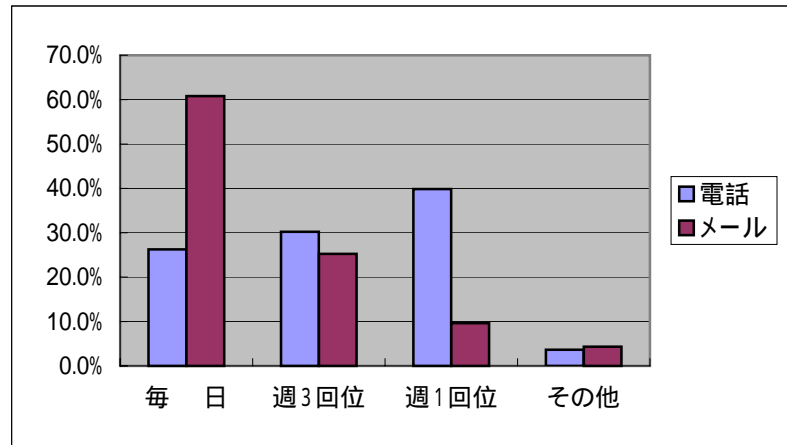
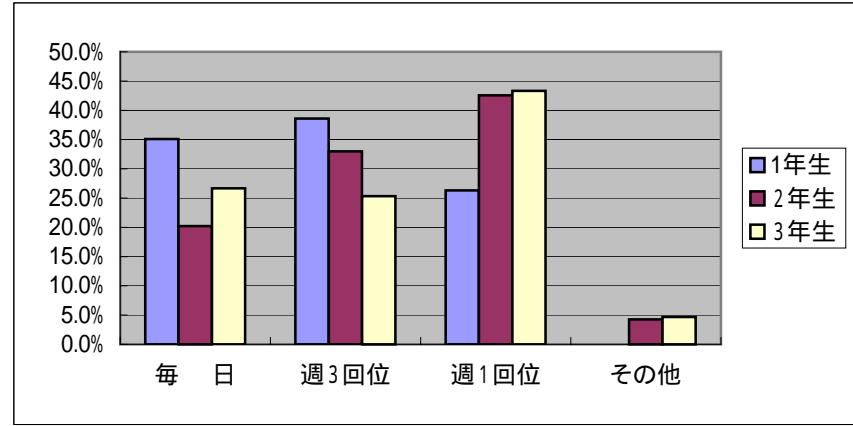
利用額については、約90%の回答者が「他の人より少ない」か「他の人と同じ」と考えており、国民会議の調査でも同様の傾向にあった。

学年別では3年生が「他の人より少ない」と考えている回答者が1・2年生に比べ15ポイント程度少なく、「他の人と同じ」と考えている回答者は10～14ポイント多い結果となっている。



問7～1 携帯電話を、どのくらいかけますか。

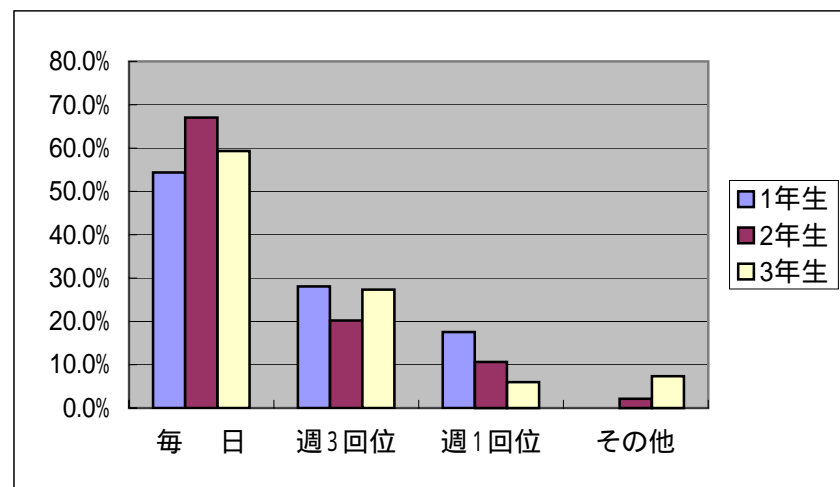
	毎日	週3回位	週1回位	その他	総数
1年生	20 35.1%	22 38.6%	15 26.3%	0 0.0%	57 100.0%
2年生	19 20.2%	31 33.0%	40 42.6%	4 4.3%	94 100.0%
3年生	40 26.7%	38 25.3%	65 43.3%	7 4.7%	150 100.0%
男子	32 26.9%	40 33.6%	43 36.1%	4 3.4%	119 100.0%
女子	47 25.8%	51 28.0%	77 42.3%	7 3.8%	182 100.0%
総数	79 26.2%	91 30.2%	120 39.9%	11 3.7%	301 100.0%



電話使用について、「週1回くらい」が約40%と予想に反して高い数値を示した。しかし、この数値は送信のみで受信は含まれておらず、相手からかかってきたものを含めると利用頻度はもっと多いはずである。「毎日」「週3回くらい」のいずれも30%前後であり大差はない。むしろ、半数以上が何らかの用途で週3回以上使用していることに注視したい。

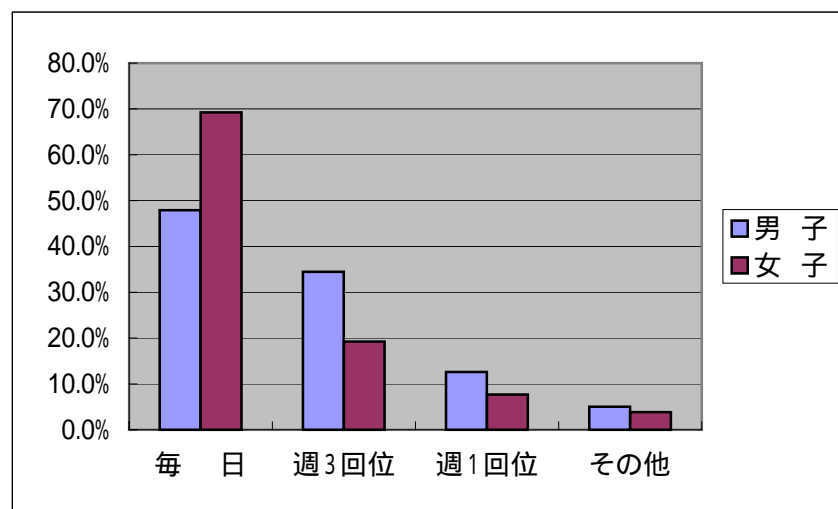
問7～2 携帯電話でメールを、どのくらい送りますか。

	毎日	週3回位	週1回位	その他	総数
1年生	31	16	10	0	57
	54.4%	28.1%	17.5%	0.0%	100.0%
2年生	63	19	10	2	94
	67.0%	20.2%	10.6%	2.1%	100.0%
3年生	89	41	9	11	150
	59.3%	27.3%	6.0%	7.3%	100.0%
男子	57	41	15	6	119
	47.9%	34.5%	12.6%	5.0%	100.0%
女子	126	35	14	7	182
	69.2%	19.2%	7.7%	3.8%	100.0%
総数	183	76	29	13	301
	60.8%	25.2%	9.6%	4.3%	100.0%



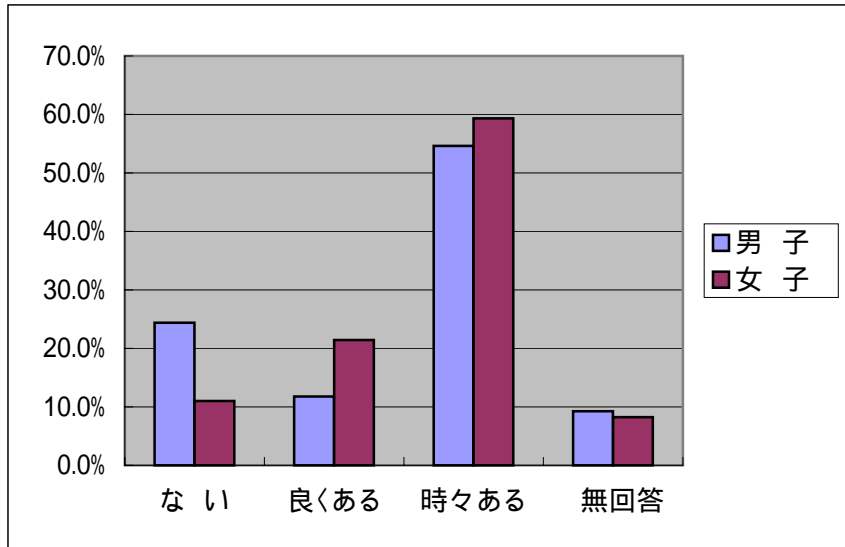
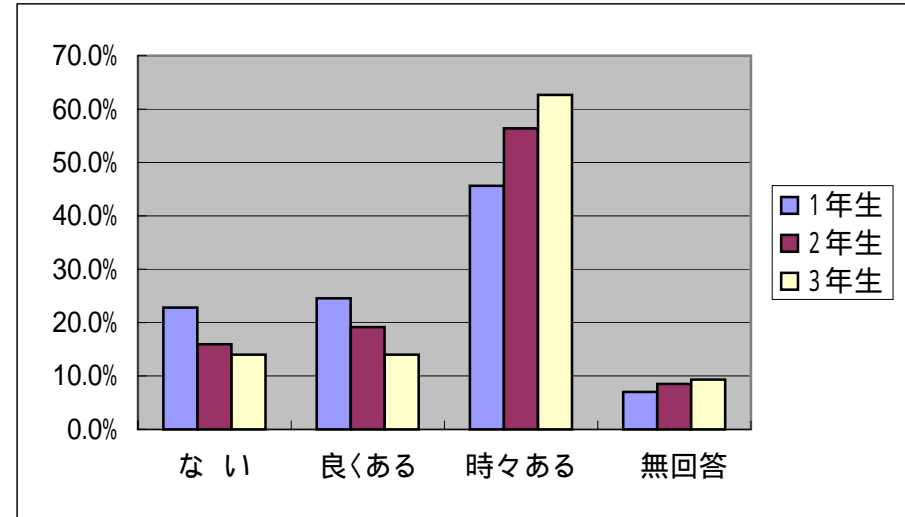
メール使用については、「毎日」が約60%と高く「週3回くらい」と併せると約85%となる。

男女別では、女子の「毎日」が約70%で21ポイント程度男子に上回る。女子の場合、返信しないと仲間はずれにされるといった危惧もありメールのやりとりをかなり煩雑にしている様子が伺える。前問の電話使用と比べても、「毎日」のメール使用が電話の2倍以上となっており、中学生の間でも、特に女子の間で手軽であり割安なメールの浸透が顕著である。



問8 知らない人から電話やメールが来た事がありますか。

	ない	良くある	時々ある	無回答	総数
1年生	13 22.8%	14 24.6%	26 45.6%	4 7.0%	57 100.0%
2年生	15 16.0%	18 19.1%	53 56.4%	8 8.5%	94 100.0%
3年生	21 14.0%	21 14.0%	94 62.7%	14 9.3%	150 100.0%
男子	29 24.4%	14 11.8%	65 54.6%	11 9.2%	119 100.0%
女子	20 11.0%	39 21.4%	108 59.3%	15 8.2%	182 100.0%
総数	49 16.3%	53 17.6%	173 57.5%	26 8.6%	301 100.0%



知らない人からのメールについては、「時々ある」が全体の50%以上をしめ、次に、「よくある」が20%位と続いている。つまり、80%近くが受け取っていることになる。

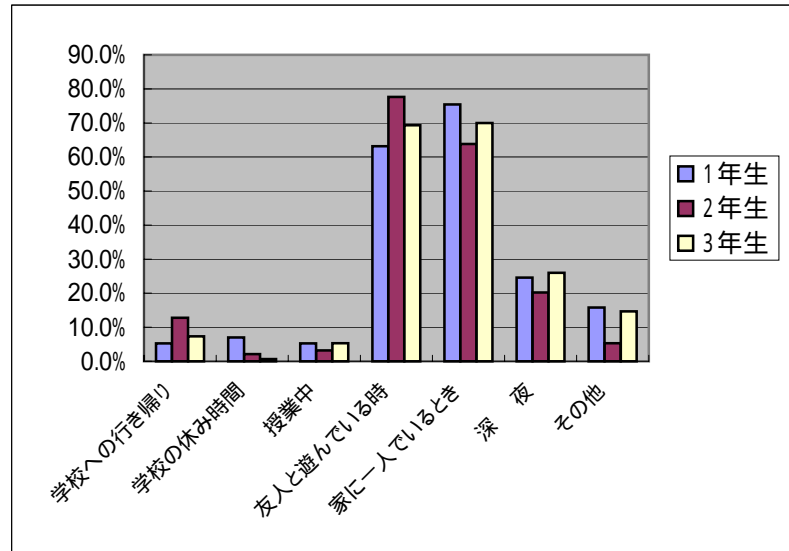
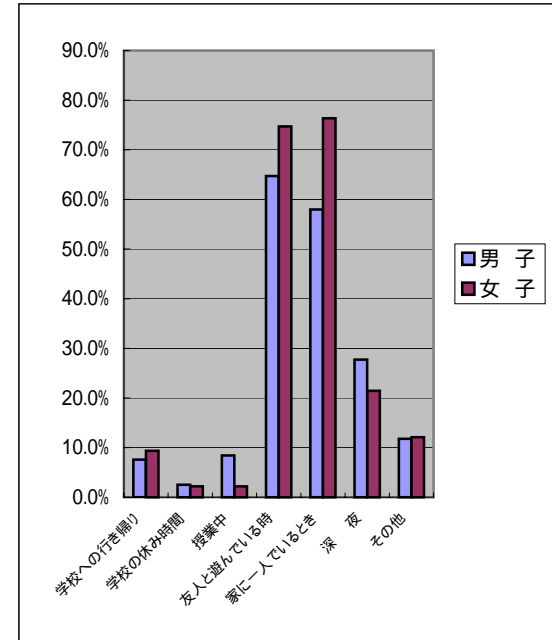
国民会議の調査でも、ほぼ同じ位の割合となっている。

携帯電話を持っていると言うことは、こういった知らない外部からの接触があるということを親として強く認識しておく必要があると思われる。

「ワン切り」「ツー切り」は、通信業者の自主規制により事実上できなくなっているものの、現実にはまだまだ徹底されていないことが明らかである。

問9 携帯電話をどのような時に使いますか。

	学校への行き帰り	学校の休み時間	授業中	友人と遊んでいる時	家に一人にいるとき	深夜	その他	総数
1年生	3	4	3	36	43	14	9	57
	5.3%	7.0%	5.3%	63.2%	75.4%	24.6%	15.8%	100.0%
2年生	12	2	3	73	60	19	5	94
	12.8%	2.1%	3.2%	77.7%	63.8%	20.2%	5.3%	100.0%
3年生	11	1	8	104	105	39	22	150
	7.3%	0.7%	5.3%	69.3%	70.0%	26.0%	14.7%	100.0%
男子	9	3	10	77	69	33	14	119
	7.6%	2.5%	8.4%	64.7%	58.0%	27.7%	11.8%	100.0%
女子	17	4	4	136	139	39	22	182
	9.3%	2.2%	2.2%	74.7%	76.4%	21.4%	12.1%	100.0%
総数	26	7	14	213	208	72	36	309
	8.4%	2.3%	4.5%	68.9%	67.3%	23.3%	11.7%	100.0%



全体としては「友人と遊んでいる時」と「家に一人いる時」が、共に60%以上と多く、次いで、「深夜」が20%位と続いている。男女、各学年とも同じ傾向が見られ国民会議の調査とほぼ同様な傾向を示している。

しかし、国民会議の結果より「授業中」「学校の休み時間」「学校の行き帰り」のポイントの高いが目立った。特に授業中の4.5%（14名）は、かなり深刻な数字である。

問10 携帯電話をどのように利用していますか。

携帯電話所持者:301名

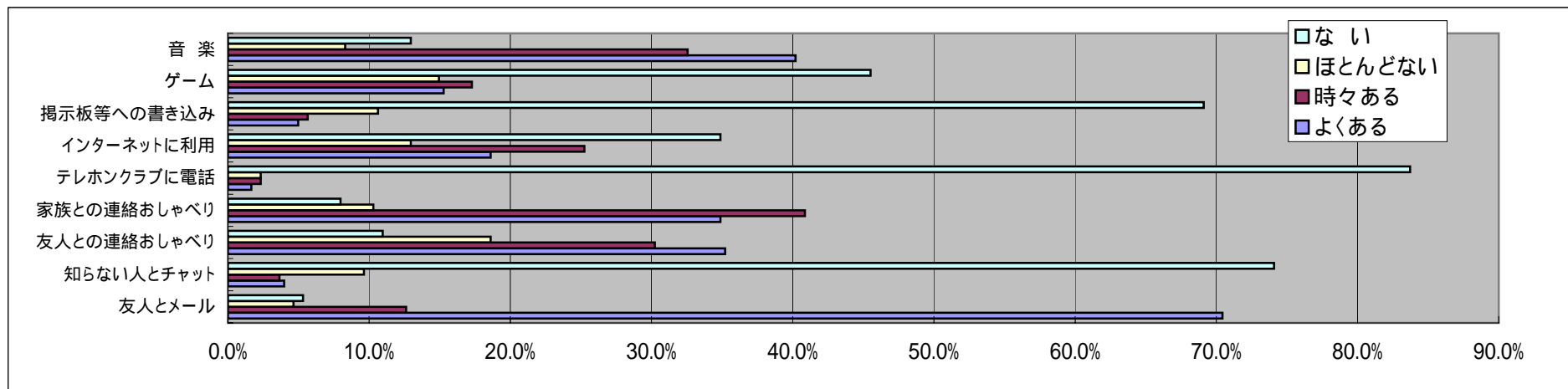
	よくある	時々ある	ほとんどない	ない
友人とメール	212 70.4%	38 12.6%	14 4.7%	16 5.3%
知らない人とチャット	12 4.0%	11 3.7%	29 9.6%	223 74.1%
友人との連絡おしゃべり	106 35.2%	91 30.2%	56 18.6%	33 11.0%
家族との連絡おしゃべり	105 34.9%	123 40.9%	31 10.3%	24 8.0%
テレホンクラブに電話	5 1.7%	7 2.3%	7 2.3%	252 83.7%
インターネットに利用	56 18.6%	76 25.2%	39 13.0%	105 34.9%
掲示板等への書き込み	15 5.0%	17 5.6%	32 10.6%	208 69.1%
ゲーム	46 15.3%	52 17.3%	45 15.0%	137 45.5%
音楽	121 40.2%	98 32.6%	25 8.3%	39 13.0%

利用法については「友人とのメール」が70.4%と最も多く、次いで、「音楽」「友人とのおしゃべり」「家族との連絡おしゃべり」となっている。

「テレホンクラブに電話」は国民会議では「よくある0%」「ときどきあり2.3%」。県P連調査では「よくある1.7%」「ときどきある2.3%」とあり、少なくない数値であることに注目したい。

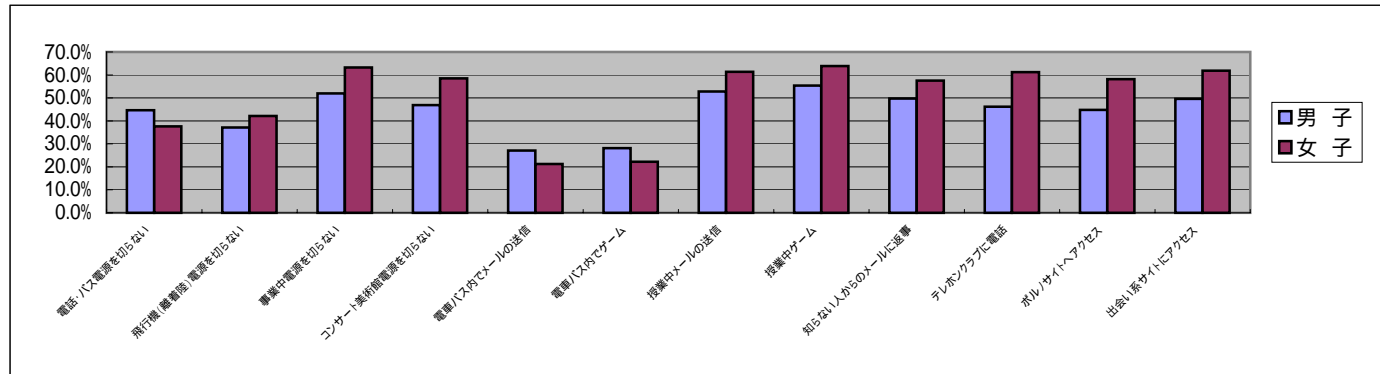
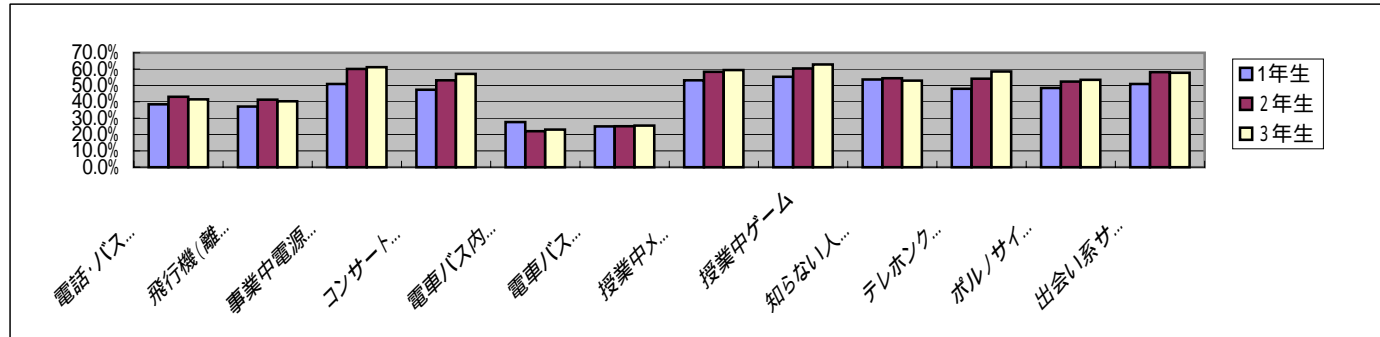
「知らない人とのチャット」や「掲示板などへの書き込み」等、未知の世界にコンタクトしている点も見逃せない。

ゲーム音楽をダウンロードしている点は、国民会議と同様な傾向にあり、幅広い活用がみとれる。



問11 携帯電話の利用について、いけないと思うこと。(複数回答)

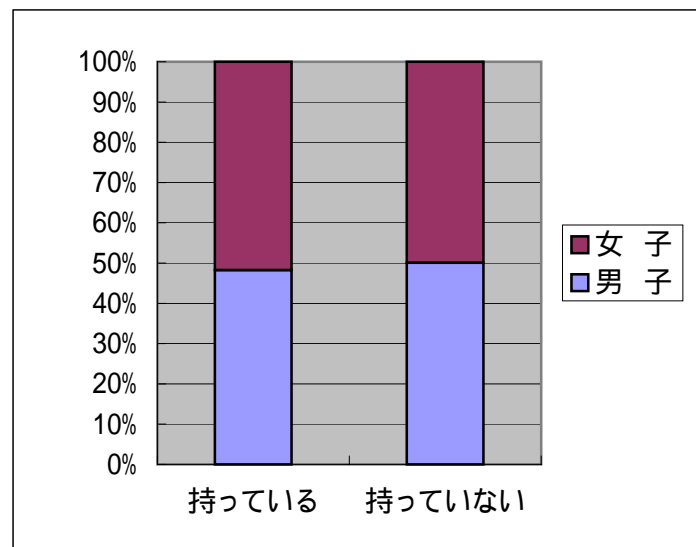
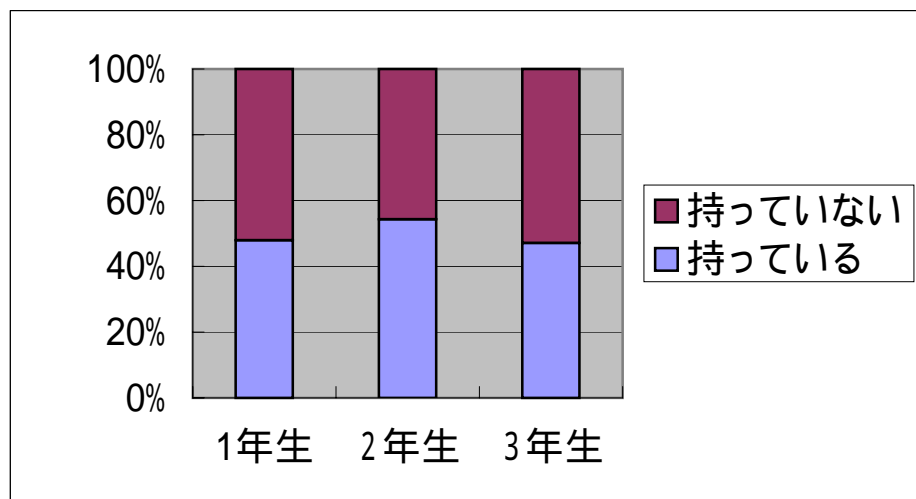
	電話・バス電源を切らない	飛行機(離着陸)電源を切らない	授業中電源を切らない	コンサート美術館電源を切らない	電車バス内でメールの送信	電車バス内でゲーム	授業中メールの送信	授業中ゲーム	知らない人からのメールに返事	テレホンクラブに電話	ポルノサイトへアクセス	出会い系サイトにアクセス	総数
1年生	142 38.5%	137 37.1%	188 50.9%	175 47.4%	102 27.6%	92 24.9%	196 53.1%	204 55.3%	198 53.7%	177 48.0%	179 48.5%	188 50.9%	369 100.0%
2年生	172 43.1%	165 41.4%	240 60.2%	212 53.1%	88 22.1%	100 25.1%	233 58.4%	241 60.4%	217 54.4%	216 54.1%	209 52.4%	232 58.1%	399 100.0%
3年生	173 41.5%	168 40.3%	255 61.2%	238 57.1%	96 23.0%	106 25.4%	248 59.5%	262 62.8%	221 53.0%	244 58.5%	223 53.5%	241 57.8%	417 100.0%
男子	262 44.6%	218 37.1%	305 52.0%	275 46.8%	159 27.1%	165 28.1%	310 52.8%	325 55.4%	292 49.7%	271 46.2%	263 44.8%	291 49.6%	587 100.0%
女子	225 37.6%	252 42.1%	378 63.2%	350 58.5%	127 21.2%	133 22.2%	367 61.4%	382 63.9%	344 57.5%	366 61.2%	348 58.2%	370 61.9%	598 100.0%
総計	487 41.1%	470 39.7%	683 57.6%	625 52.7%	286 24.1%	298 25.1%	677 57.1%	707 59.7%	636 53.7%	637 53.8%	611 51.6%	661 55.8%	1185 100.0%



「携帯電話の利用について、いけない」ということについては、男女別、各学年のアンケート結果は、ほぼ同じであったが、これを%の多い順に見ると「学校でのメールやゲームなどの利用」次いで「ポルノや出会い系サイト・テレホンクラブなどの利用」そして「コンサートやバス・電車などでの利用」となるが、いけないと思う意識が多くも60%位と言う事が、特に注視すべき点と思う。携帯電話を持たせる以上、親として社会規範(マナー)も一緒にもたせるべきではないだろう。

問12 自宅に自分で自由に使えるパソコンがありますか。

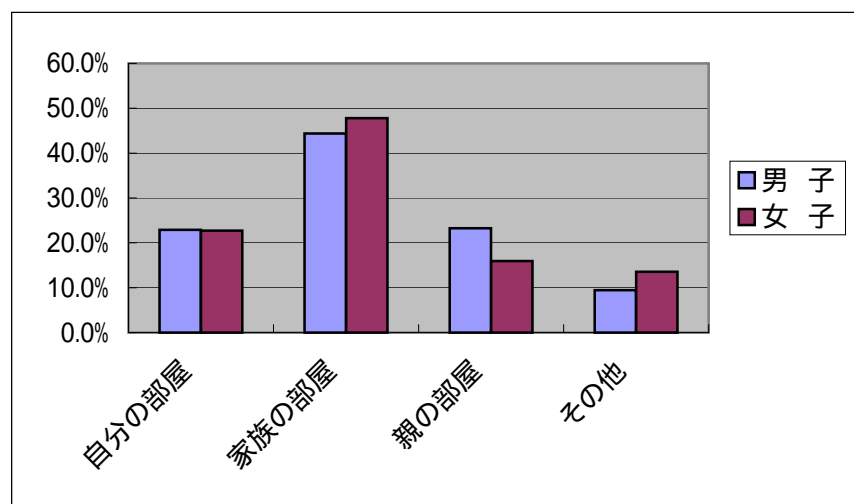
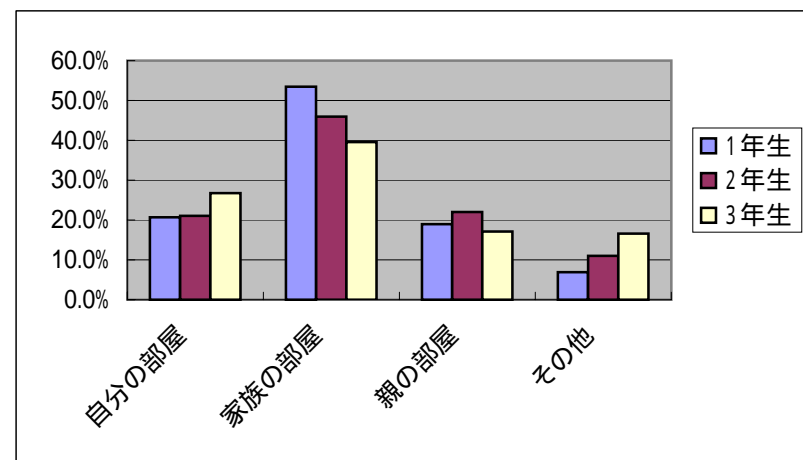
	持っている	持っていない	無回答	総数
1年生	174 47.2%	189 51.2%	6 1.6%	369 100.0%
2年生	209 52.4%	176 44.1%	14 3.5%	399 100.0%
3年生	187 44.8%	210 50.4%	20 4.8%	417 100.0%
男子	275 46.8%	288 49.1%	24 4.1%	587 100.0%
女子	295 49.3%	287 48.0%	16 2.7%	598 100.0%
総数	570 48.1%	575 48.5%	40 3.4%	1185 100.0%



全体としては、1185人中半数の570人（48，1%）が自宅に自由に使えるパソコンを持っており時代を感じる。
 男女別、学年別で見ても大きな差はない。
 学校の授業で使用していることから教材の感覚で与えている傾向があるようである。

問13 自由に使えるパソコンは、自宅のどこにありますか。

	自分の部屋	家族の部屋	親の部屋	その他	総数
1年生	36 20.7%	93 53.4%	33 19.0%	12 6.9%	174 100.0%
2年生	44 21.1%	96 45.9%	46 22.0%	23 11.0%	209 100.0%
3年生	50 26.7%	74 39.6%	32 17.1%	31 16.6%	187 100.0%
男子	63 22.9%	122 44.4%	64 23.3%	26 9.5%	275 100.0%
女子	67 22.7%	141 47.8%	47 15.9%	40 13.6%	295 100.0%
総数	130 22.8%	263 46.1%	111 19.5%	66 11.6%	570 100.0%



全体として、570人中263人（46.1%）が家族の居間にあるパソコンを利用している。

自分部屋にパソコンを所有しているものは、570人中130人（22.8%）で男子63人（22.9%）女子67人（22.7%）とほぼ同じである。

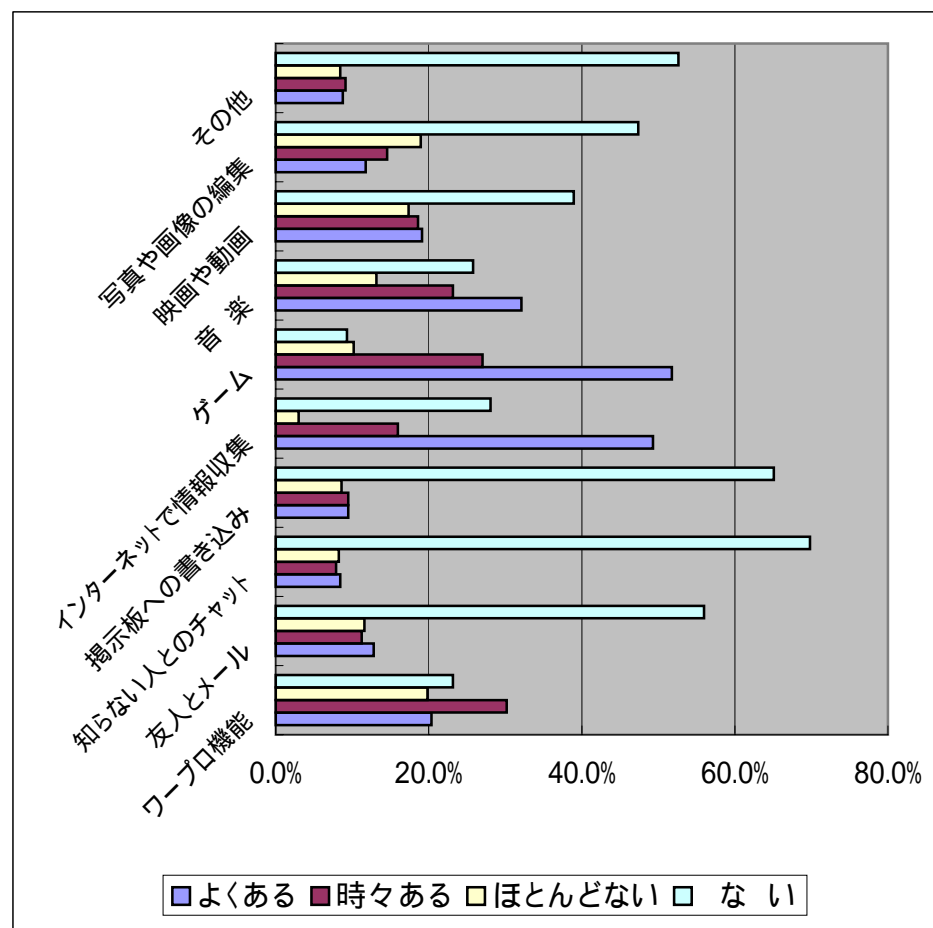
ここ1～2年で子供の自由に出来るパソコンを自室に与える割合が多くなっている傾向があるようである。

今の子供は、パソコンが使えなくてはと思う親の願いやパソコンを操作する子供に頼もしさを感じる親心を反映しているとはいえないだろうか。

問14 パソコンで何をしますか。

パソコン所持者：570名

	よくある	時々ある	ほとんどない	ない
ワープロ機能	116 20.4%	172 30.2%	113 19.8%	132 23.2%
友人とメール	73 12.8%	64 11.2%	66 11.6%	319 56.0%
知らない人との チャット	48 8.4%	45 7.9%	47 8.2%	398 69.8%
掲示板への書き込み	54 9.5%	54 9.5%	49 8.6%	371 65.1%
インターネットで情報 収集	281 49.3%	91 16.0%	17 3.0%	160 28.1%
ゲーム	295 51.8%	154 27.0%	58 10.2%	53 9.3%
音楽	183 32.1%	132 23.2%	75 13.2%	147 25.8%
映画や動画	109 19.1%	106 18.6%	99 17.4%	222 38.9%
写真や画像の編集	67 11.8%	83 14.6%	108 18.9%	270 47.4%
その他	50 8.8%	52 9.1%	48 8.4%	300 52.6%



パソコンの利用で多いのは、ゲームで「よくある」「時々ある」を含めると、570人中449人（78.8%）にのぼる。

「知らない人とのチャット」93人（16.3%）

「掲示板への書き込み」108人（19.0%）

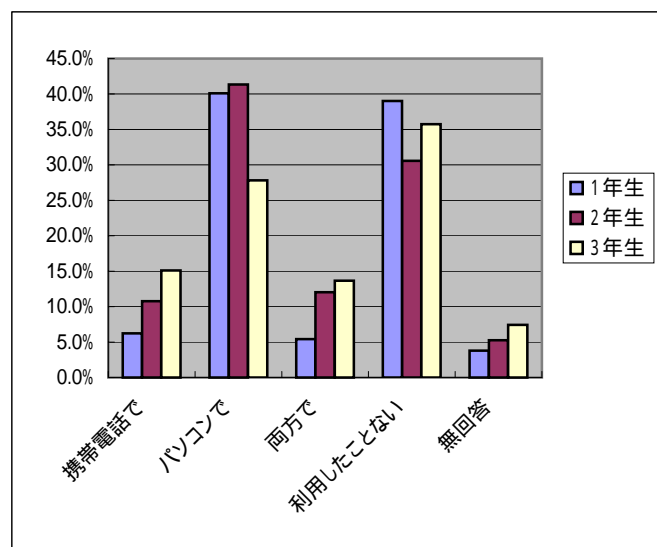
という数値から外部との接触にかなり興味があることが伺える。

各項目にわたり多彩に使いこなしていることが分かるが、危険な分野に入る込む可能性も同時にはらんでいることを認識させる必要があるのではないだろうか。

有効な使い方を親としてアピールすべきと思われる。

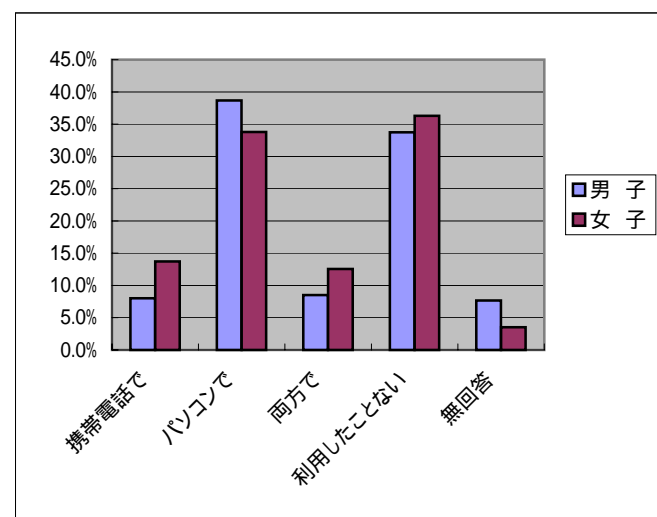
問15 携帯電話やパソコンでインターネットを利用したことがあるか。

	携帯電話で	パソコンで	両方で	利用したことない	無回答	総数
1年生	23 6.2%	148 40.1%	20 5.4%	144 39.0%	14 3.8%	369 100.0%
2年生	43 10.8%	165 41.4%	48 12.0%	122 30.6%	21 5.3%	399 100.0%
3年生	63 15.1%	116 27.8%	57 13.7%	149 35.7%	31 7.4%	417 100.0%
男子	47 8.0%	227 38.7%	50 8.5%	198 33.7%	45 7.7%	587 100.0%
女子	82 13.7%	202 33.8%	75 12.5%	217 36.3%	21 3.5%	598 100.0%
総数	129 10.9%	429 36.2%	125 10.5%	415 35.0%	66 5.6%	1185 100.0%



携帯電話による利用者は、1185人中129人（10.9%）だが、「両方で」を含めると254人（21.4%）おり、男子97人に対し女子157人と女子の利用者が多い。国民調査においても同様な傾向を示している。

パソコンによる利用者は、1185人中429人（36.2%）で、男子227人に対し女子202人と若干男子の利用者が多い。

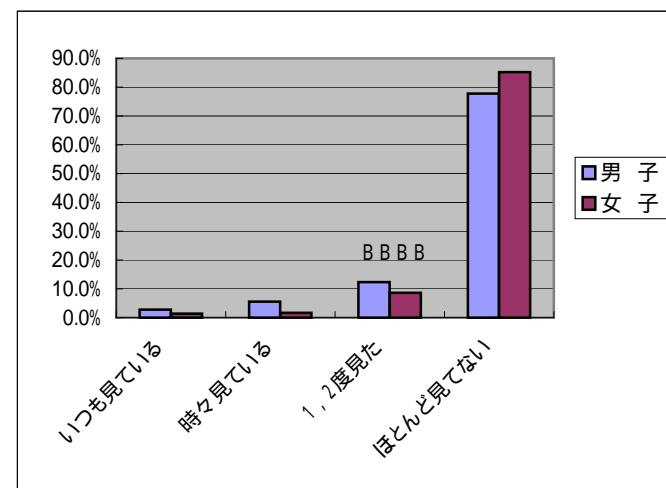
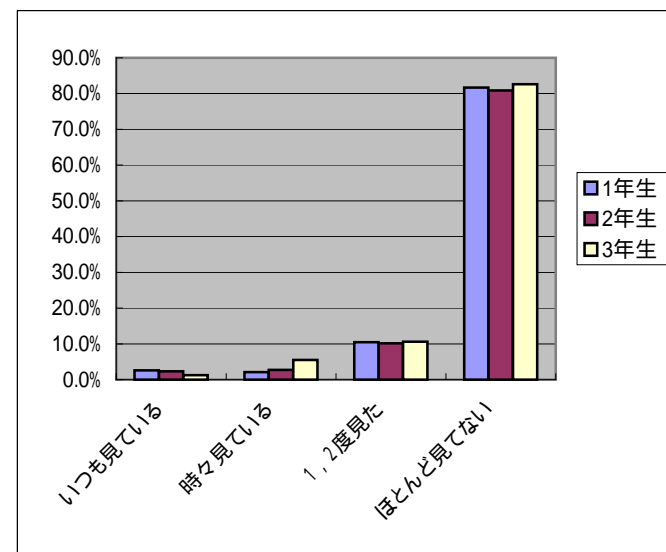


問16 「ポルノサイト」を見たことがあるか。

	いつも見ている	時々見ている	1,2度見た	ほとんど見てない	無回答	総計
1年生	5 2.6%	4 2.1%	20 10.5%	156 81.7%	6 3.1%	191 100.0%
2年生	6 2.3%	7 2.7%	26 10.2%	207 80.9%	10 3.9%	256 100.0%
3年生	3 1.3%	13 5.5%	25 10.6%	195 82.6%	0 0.0%	236 100.0%
男子	9 2.8%	18 5.6%	40 12.3%	252 77.8%	5 1.5%	324 100.0%
女子	5 1.4%	6 1.7%	31 8.6%	306 85.2%	11 3.1%	359 100.0%
総計	14 2.0%	24 3.5%	71 10.4%	558 81.7%	16 2.3%	683 100.0%

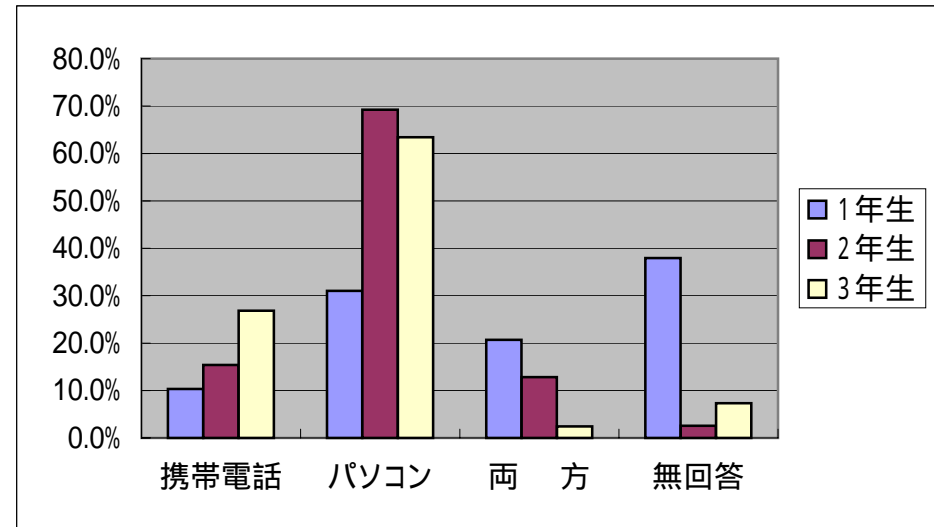
ポルノサイトへのアクセスは、ほとんどなされていない。683名の回答者中「いつも見ている」と回答した生徒は、全学年で14名であり「ときどき見ている」と回答した生徒は、24名であるが、「1,2度見たことがある」が71名いることに注視したい。

中学生でも「ポルノ」にある程度の接触をしていることが注目される。特に、男子が女子より多い。



問17 「ポルノサイト」を何で見ましたか。

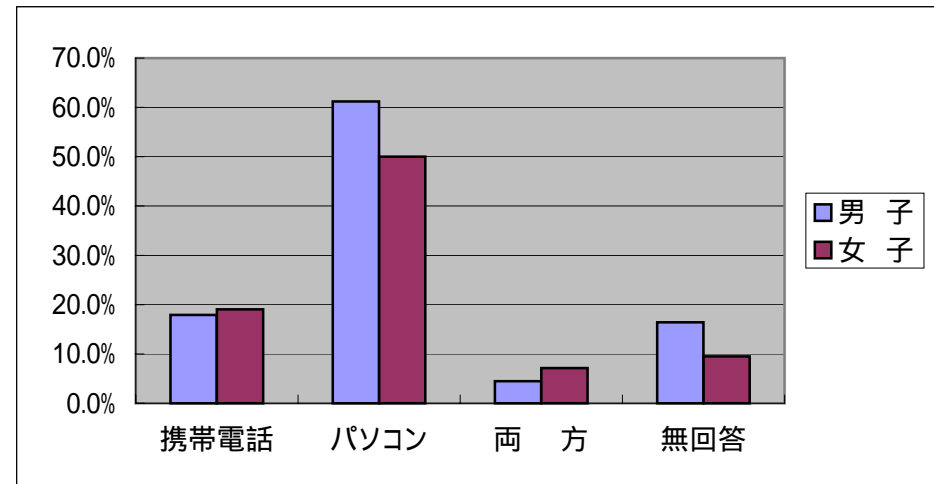
	携帯電話	パソコン	両方	無回答	総数
1年生	3 10.3%	9 31.0%	6 20.7%	11 37.9%	29 100.0%
2年生	6 15.4%	27 69.2%	5 12.8%	1 2.6%	39 100.0%
3年生	11 26.8%	26 63.4%	1 2.4%	3 7.3%	41 100.0%
男子	12 17.9%	41 61.2%	3 4.5%	11 16.4%	67 100.0%
女子	8 19.0%	21 50.0%	3 7.1%	4 9.5%	42 100.0%
総計	20 18.3%	62 56.9%	6 5.5%	15 13.8%	109 100.0%



ポルノサイトへのアクセス方法は、回答者中携帯電話が20名、パソコンが62名、両方が6名である。

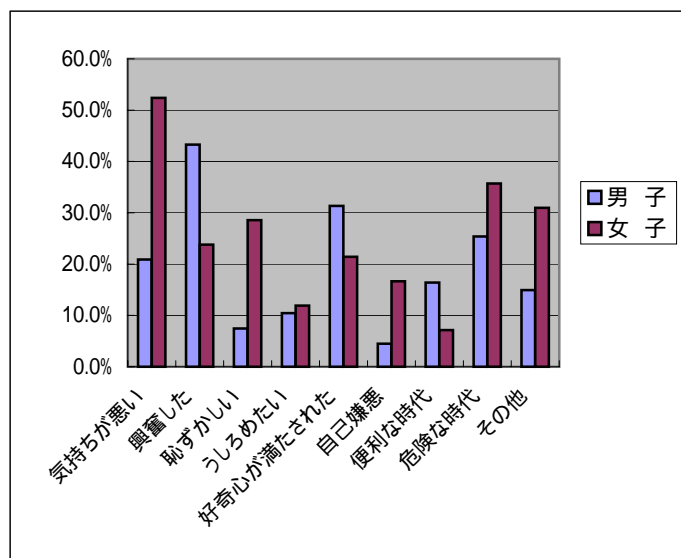
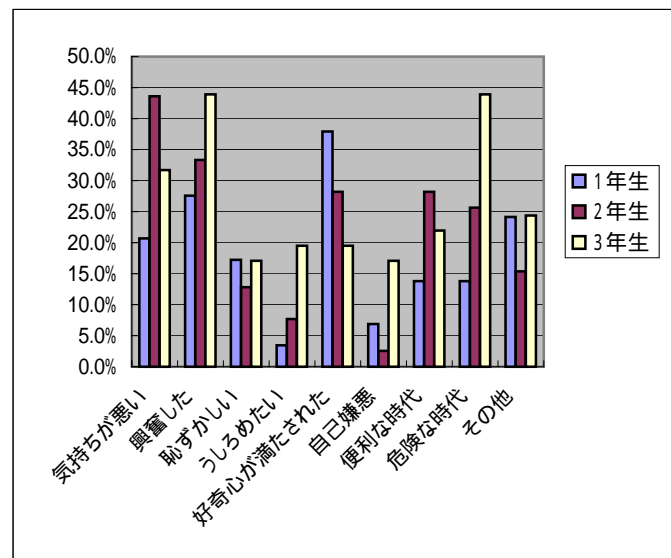
とりわけ「ポルノ」に接触した中学生は、パソコンによる比率が高く男子で61.2%、女子では50%である。

その理由の一つに画像の鮮明さ等があげられると思われる。



問18 「ポルノサイト」を見てどう思いましたか。(複数回答)

	気持ちが悪い	興奮した	恥ずかしい	うしろめたい	好奇心が満たされた	自己嫌悪	便利な時代	危険な時代	その他	総数
1年生	6 20.7%	8 27.6%	5 17.2%	1 3.4%	11 37.9%	2 6.9%	4 13.8%	4 13.8%	7 24.1%	29 100.0%
2年生	17 43.6%	13 33.3%	5 12.8%	3 7.7%	11 28.2%	1 2.6%	11 28.2%	10 25.6%	6 15.4%	39 100.0%
3年生	13 31.7%	18 43.9%	7 17.1%	8 19.5%	8 19.5%	7 17.1%	9 22.0%	18 43.9%	10 24.4%	41 100.0%
男子	14 20.9%	29 43.3%	5 7.5%	7 10.4%	21 31.3%	3 4.5%	11 16.4%	17 25.4%	10 14.9%	67 100.0%
女子	22 52.4%	10 23.8%	12 28.6%	5 11.9%	9 21.4%	7 16.7%	3 7.1%	15 35.7%	13 31.0%	42 100.0%
総数	36 33.0%	39 35.8%	17 15.6%	12 11.0%	30 27.5%	10 9.2%	14 12.8%	32 29.4%	23 21.1%	109 100.0%

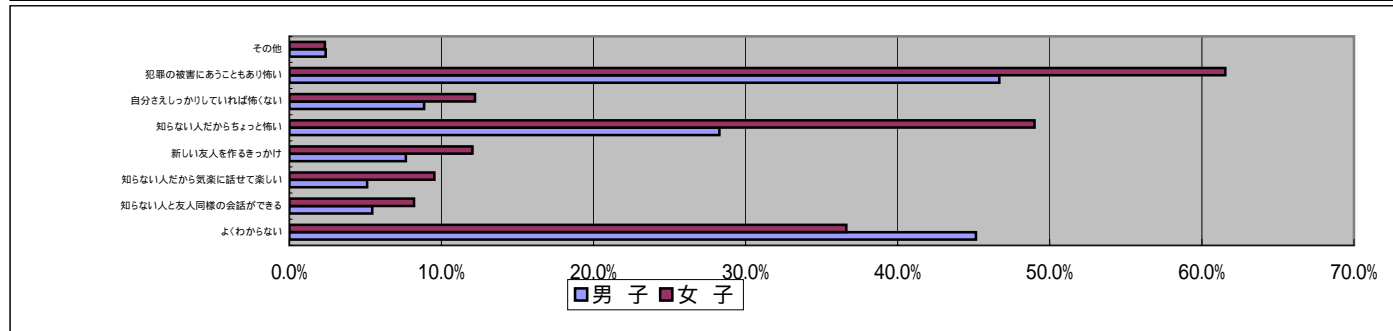
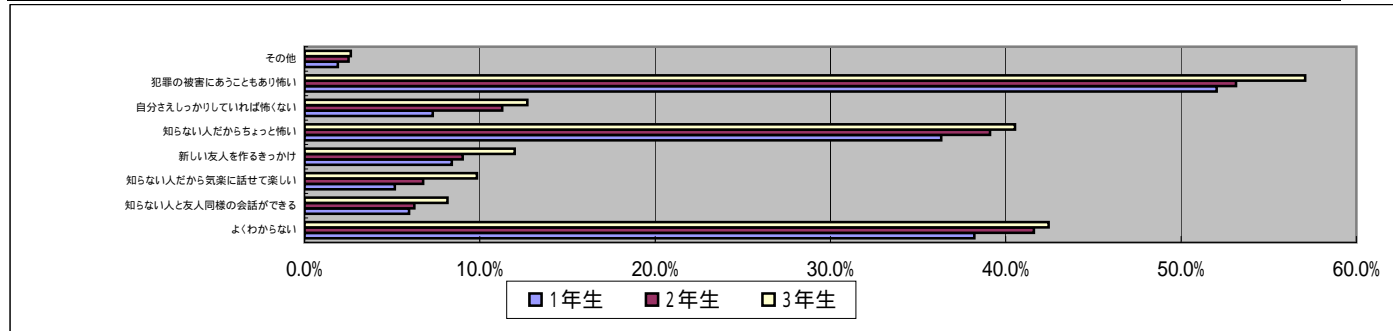


男子の「興奮した」「好奇心が満たされた」「便利な時代になった」という項目が女子より高いポイントを顕著に示している。女子は「気持ちが悪い」「恥ずかしい」「危険な時代」という項目が男子より高いポイントを示している。

「便利な時代」とする生徒が全体で109名中14名。「危険な時代」とする生徒が32名いる。「便利」と「危険」が隣り合わせになっていることを示す回答である。

問19 「出会い系サイト」をどう思いますか。

	よくわからない	知らない人と友人同様の会話ができる	知らない人だから気楽に話せて楽しい	新しい友人を作るきっかけ	知らない人だからちょっと怖い	自分さえしっかりしていれば怖くない	犯罪の被害にあうこともあり怖い	その他	総数
1年生	141 38.2%	22 6.0%	19 5.1%	31 8.4%	134 36.3%	27 7.3%	192 52.0%	7 1.9%	369 100.0%
2年生	166 41.6%	25 6.3%	27 6.8%	36 9.0%	156 39.1%	45 11.3%	212 53.1%	10 2.5%	399 100.0%
3年生	177 42.4%	34 8.2%	41 9.8%	50 12.0%	169 40.5%	53 12.7%	238 57.1%	11 2.6%	417 100.0%
男子	265 45.1%	32 5.5%	30 5.1%	45 7.7%	166 28.3%	52 8.9%	274 46.7%	14 2.4%	587 100.0%
女子	219 36.6%	49 8.2%	57 9.5%	72 12.0%	293 49.0%	73 12.2%	368 61.5%	14 2.3%	598 100.0%
総数	484 40.8%	81 6.8%	87 7.3%	117 9.9%	459 38.7%	125 10.5%	642 54.2%	28 2.4%	1185 100.0%



「犯罪の被害にあうことがあり危険」が54.2%と最も多く、「知らない人だから怖い」が38.7%と続く。

このことから全体的には「出会い系」は危険であるという意識が伺える。

テレビなどで報道されている影響であろう。

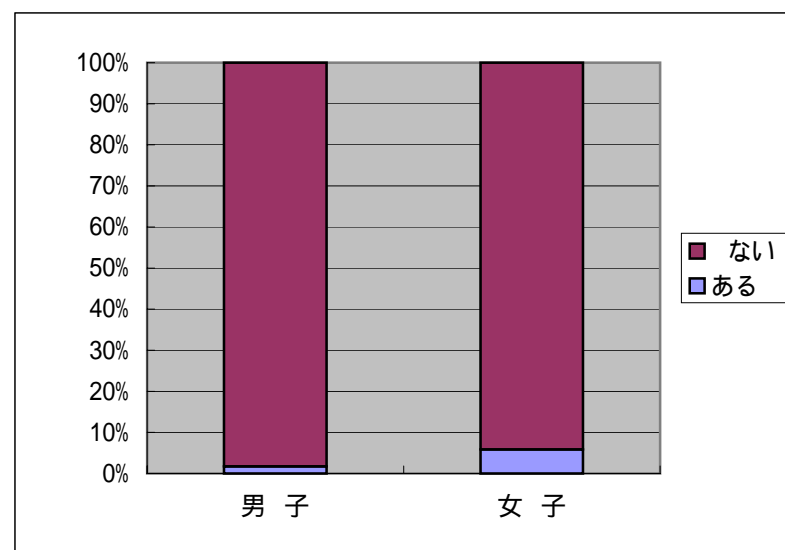
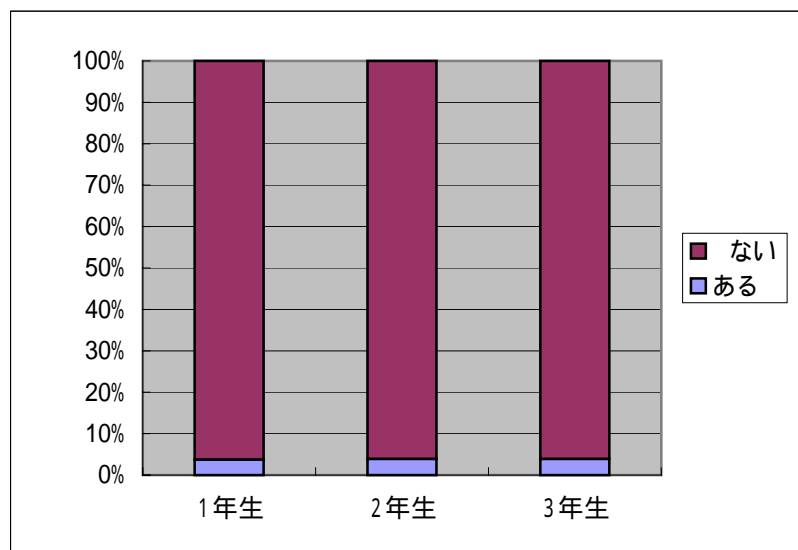
しかしながら、本当に危険な目にあったことが幸いにもない為か「新しい友人を作るきっかけ」「知らない人だから気楽」と積極的に評価する子どもも少なく、このあたりは今後規範意識を教えていく必要性を感じるものである。

問20 「出会い系サイト」にアクセスしたことがあるか。

	ある	ない	無回答	総数
1年生	11 3.0%	284 77.0%	74 20.1%	369 100.0%
2年生	12 3.0%	295 73.9%	92 23.1%	399 100.0%
3年生	14 3.4%	346 83.0%	57 13.7%	417 100.0%
男子	8 1.4%	458 78.0%	121 20.6%	587 100.0%
女子	29 4.8%	467 78.1%	102 17.1%	598 100.0%
総数	37 3.1%	925 78.1%	223 18.8%	1185 100.0%

「アクセスしたことがある」と答えた生徒が3.1%いる。一見少ないように思えるが、無回答者18.3%と多い。したがって、この中には自分でも判断つかない程度の接触が含まれているかもしれない。

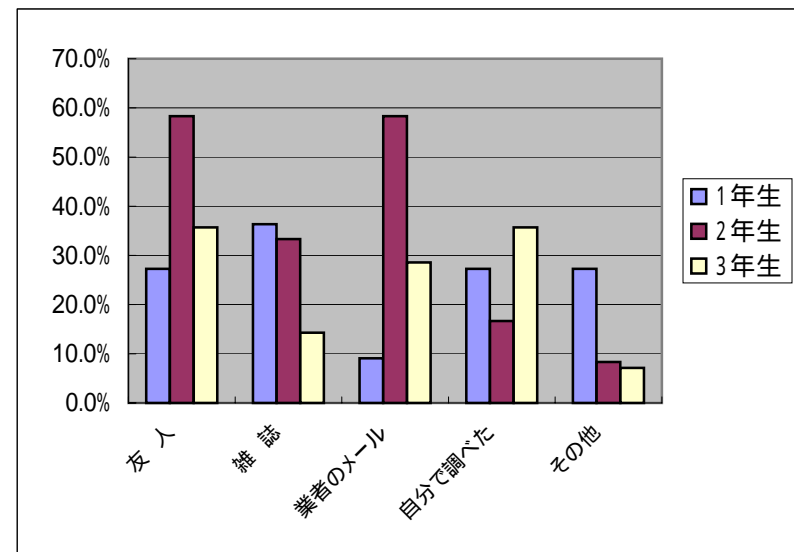
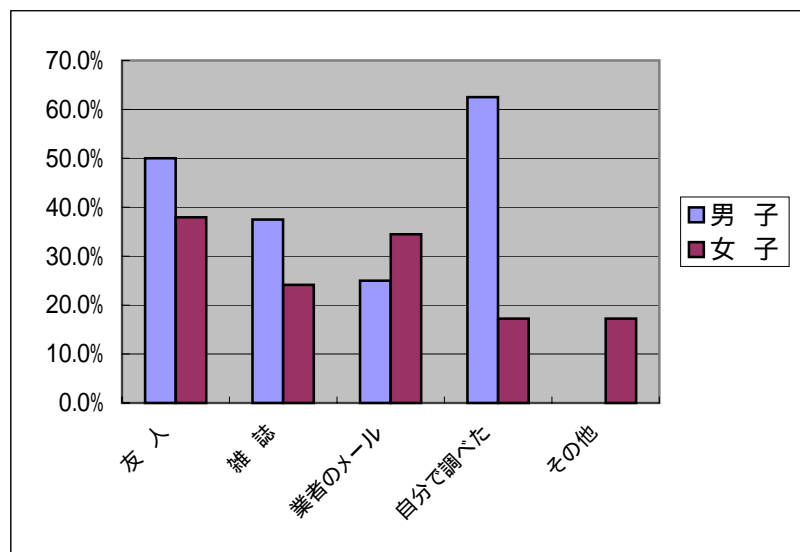
特に女子に多いのが目立つ。また高学年になるにつれて増えている傾向にある。



問21 「出会い系サイト」について、どうして知りましたか。(複数回答)

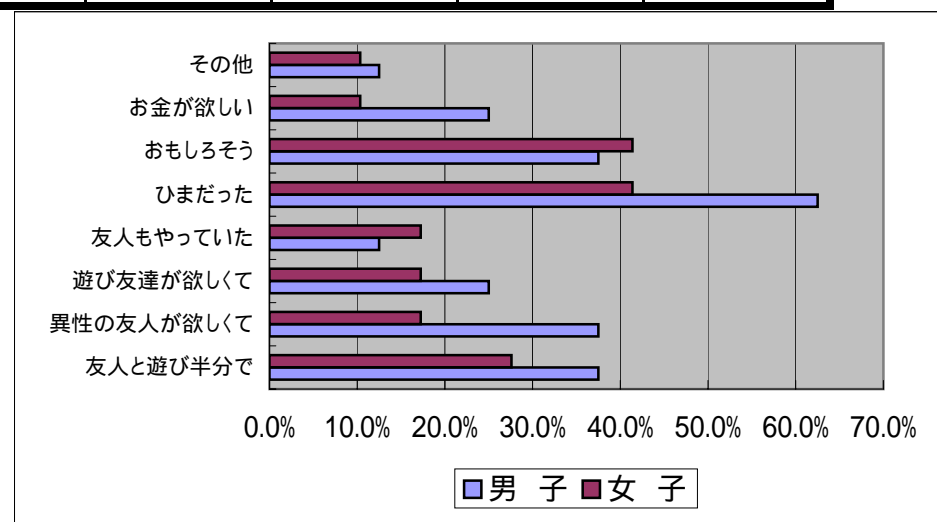
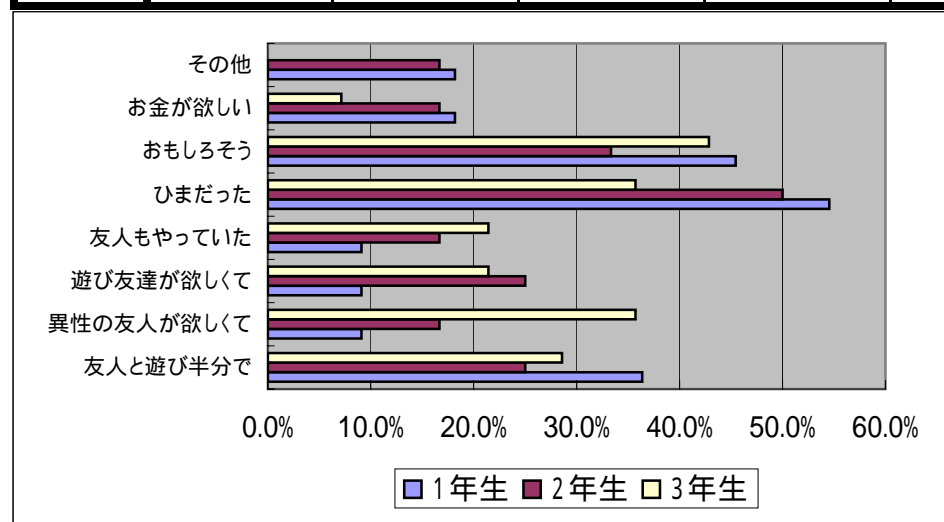
	友人	雑誌	業者のメール	自分で調べた	その他	総数
1年生	3 27.3%	4 36.4%	1 9.1%	3 27.3%	3 27.3%	11 100.0%
2年生	7 58.3%	4 33.3%	7 58.3%	2 16.7%	1 8.3%	12 100.0%
3年生	5 35.7%	2 14.3%	4 28.6%	5 35.7%	1 7.1%	14 100.0%
男子	4 50.0%	3 37.5%	2 25.0%	5 62.5%	0 0.0%	8 100.0%
女子	11 37.9%	7 24.1%	10 34.5%	5 17.2%	5 17.2%	29 100.0%
総数	15 40.5%	10 27.0%	12 32.4%	10 27.0%	5 13.5%	37 100.0%

全体的に見ると40.5%の生徒が「友人から教えてもらった」と回答している。「業者からのメールにより知った」という生徒が上位を占めている。また、男女別に見ると男子は「自分で調べて」、女子は「友人から」が最も多い。



問22 「出会い系サイト」を利用した理由。(複数回答)

	友人と遊び半分で	異性の友人が欲しくて	遊び友達が欲しくて	友人もやっていた	ひまだった	おもしろそう	お金が欲しい	その他	総数
1年生	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	6 54.5%	5 45.5%	2 18.2%	2 18.2%	11 100.0%
2年生	3 25.0%	2 16.7%	3 25.0%	2 16.7%	6 50.0%	4 33.3%	2 16.7%	2 16.7%	12 100.0%
3年生	4 28.6%	5 35.7%	3 21.4%	3 21.4%	5 35.7%	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%
男子	3 37.5%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	5 62.5%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	8 100.0%
女子	8 27.6%	5 17.2%	5 17.2%	5 17.2%	12 41.4%	12 41.4%	3 10.3%	3 10.3%	29 100.0%
総数	11 29.7%	8 21.6%	7 18.9%	6 16.2%	17 45.9%	15 40.5%	5 13.5%	4 10.8%	37 100.0%



「ひまだった」45.9%や「おもしろそう」40.5%という回答が多いことから、単なる好奇心やひまつぶしから遊び半分で接触しているようである。
一方で「お金が欲しい」からという男子2名・女子3名は、注目すべきである。

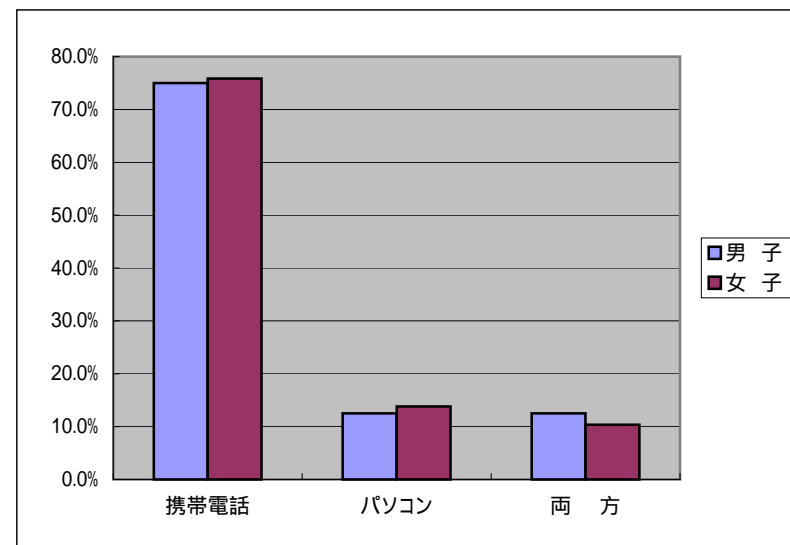
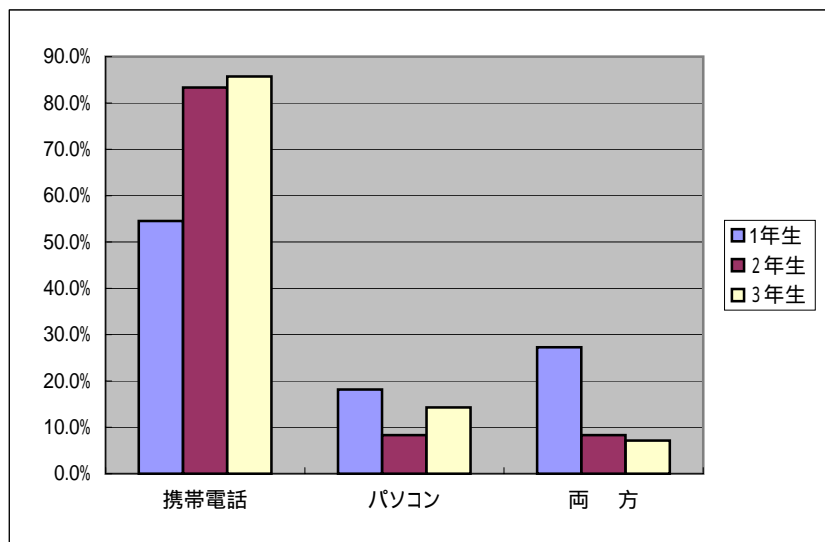
問い23 「出会い系サイト」を利用したのは、何からですか

	携帯電話	パソコン	両方	総数
1年生	6 54.5%	2 18.2%	3 27.3%	11 100.0%
2年生	10 83.3%	1 8.3%	1 8.3%	12 100.0%
3年生	12 85.7%	2 14.3%	1 7.1%	14 100.0%
男子	6 75.0%	1 12.5%	1 12.5%	8 100.0%
女子	22 75.9%	4 13.8%	3 10.3%	29 100.0%
総数	28 75.7%	5 13.5%	4 10.8%	37 100.0%

「出会い系サイト」へのアクセスは、携帯電話からと回答している生徒が75%と高い。

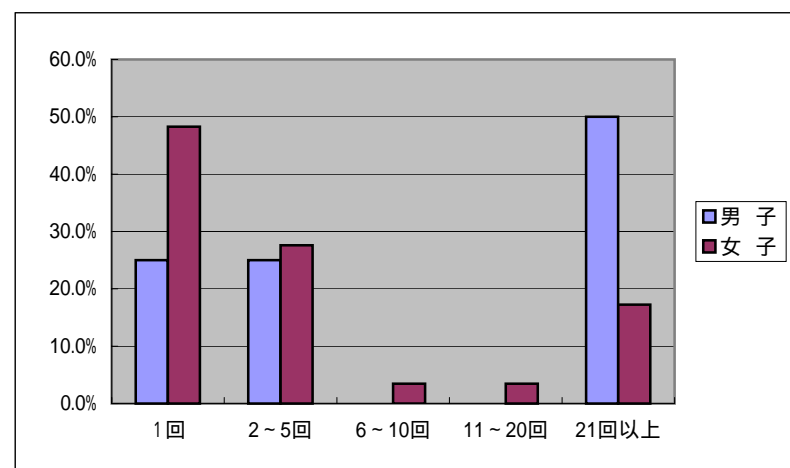
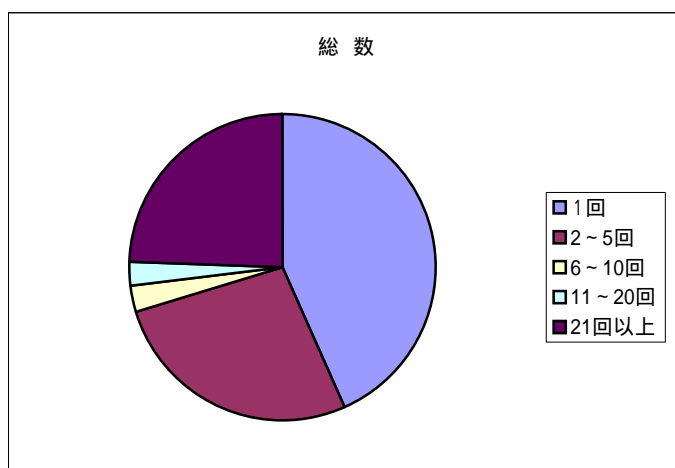
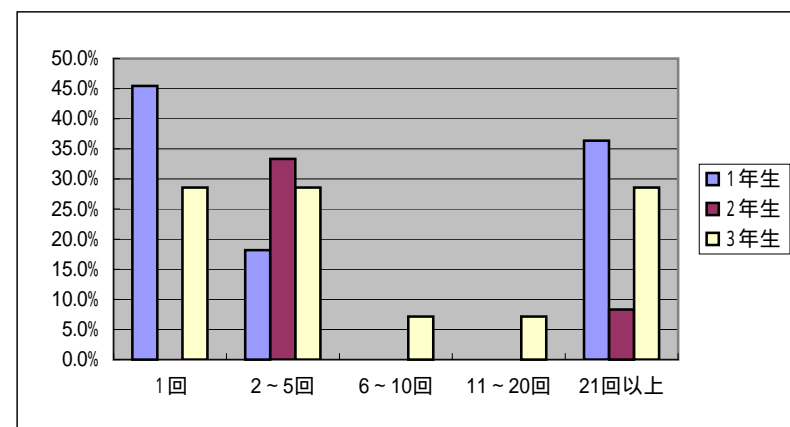
パソコンと比較すれば手軽な携帯電話が利用されている。

良し悪しは別にして、携帯電話の利便性がここにも現れている。



問24 「出会い系サイト」を何回利用しかた

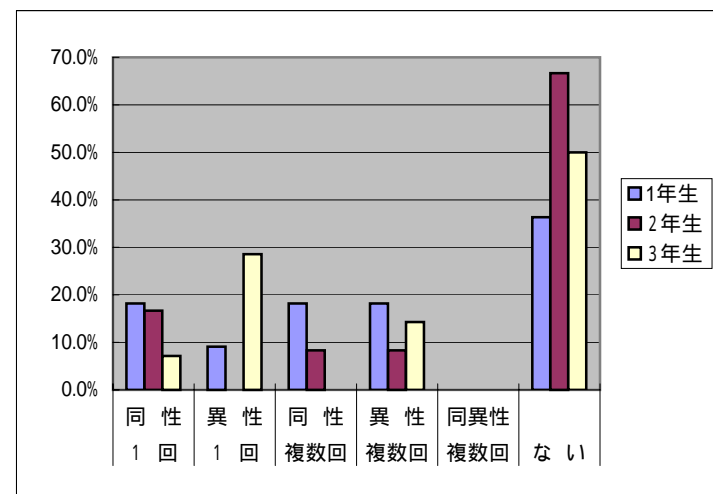
	1回	2～5回	6～10回	11～20回	21回以上	総数
1年生	5 45.5%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	11 100.0%
2年生	0 0.0%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	12 100.0%
3年生	4 28.6%	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	4 28.6%	14 100.0%
男子	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	8 100.0%
女子	14 48.3%	8 27.6%	1 3.4%	1 3.4%	5 17.2%	29 100.0%
総数	16 43.2%	10 27.0%	1 2.7%	1 2.7%	9 24.3%	37 100.0%



頻度は「1回」だけが最も多く、次いで「2～5回」であることから、アクセスのきっかけが単なる好奇心からであろうと推察される。他方で「21回以上」とすっかり夢中になってしまった子ども9名（24.3%）もあり、この数値は国民会議の7.6%をはるかに上回っていることに注視したい。

問25 「出会い系サイト」で知り合った人に合ったことがありますか

	1回同性	1回異性	複数回同性	複数回異性	複数回同異性	ない	総数
1年生	2 18.2%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%	4 36.4%	11 100.0%
2年生	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	8 66.7%	12 100.0%
3年生	1 7.1%	4 28.6%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	7 50.0%	14 100.0%
男子	0 0.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	8 100.0%
女子	5 17.2%	2 6.9%	2 6.9%	5 17.2%	0 0.0%	15 51.7%	29 100.0%
総数	5 13.5%	5 13.5%	3 8.1%	5 13.5%	0 0.0%	19 51.4%	37 100.0%



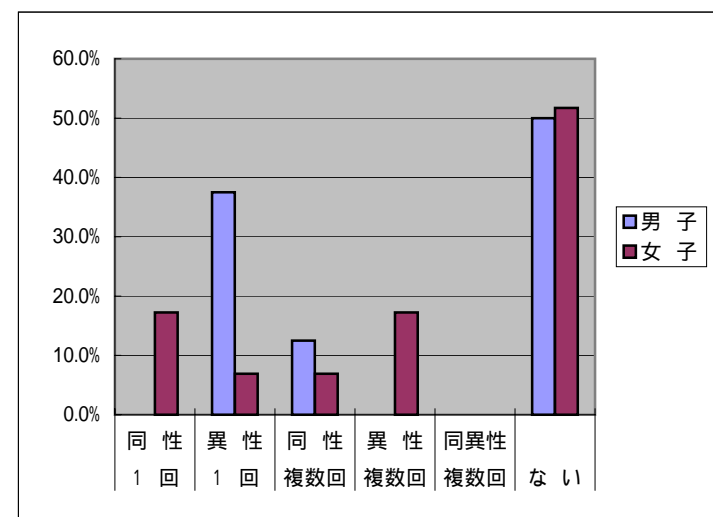
「出会い系サイト」で知っても、会ったことがないが半数にのぼる。しかし、実際会った生徒が半数近くいるのは「サイトから行動へ」という意識が強いと言える。

また、男女比較では、女子の実際に会った割合が男子の3倍強であり、女子の行動力が強いと言える。

異性との出会いでも、女子が男子の2倍強を示している。複数回会っている生徒もおり日常化している可能性もある。

「出会い系サイト」での相手は、ほぼこちらを「性の対象」としていると思ってもよいであろう。

しかしながら、子どもたちにとっては「性対象」でない部分もあると錯覚している面がある。いつ狼に変身しても不思議でないことに気づかせるべきであろう。



問26 「出会い系サイト」で合った人の年齢は、どのくらいでしたか・複数の場合、1番年齢の高い人を選んでください

	同年代	20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	総数
1年生	4	0	2	1	0	11
	36.4%	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%	100.0%
2年生	1	1	0	1	1	12
	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	100.0%
3年生	6	1	0	0	0	14
	42.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男子	2	1	0	0	1	8
	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	100.0%
女子	9	1	2	2	0	29
	31.0%	3.4%	6.9%	6.9%	0.0%	100.0%
総数	11	2	2	2	1	37
	29.7%	5.4%	5.4%	5.4%	2.7%	100.0%

学年間の格差は、あまり見られない。
 同年代同士の出会いが多く、同年代とのサイトが活発であり、特に女子生徒に顕著に現れている。
 年代別では、同年代が同じ年の中学生なのか高校生・有職青年なのかこの調査では分からないが、20歳代から50歳代までの大人との出会いもあり、対象の幅が広いことが分かる。

(参考資料)

宮城県警察署による「出会い系サイト」が関係した事件の検挙状況

1 検挙した「出会い系サイト」が関係した事件

	H15 上半期	H14	H13
殺人	0	1	0
強姦	0	0	1
恐喝	1	2	0
窃盗	0	4	0
詐欺	2	0	4
児童買春	12	8	4
青少年保護育成条例違反	23	18	3
その他	9	7	0
合計	47	40	12

2 平成15年上半期検挙事件の特徴

- ・ 性犯罪(児童買春、青少年保護条例)35件(74%)を含める
- ・ 青少年保護条例違反が23件(49%)で最も多い
- ・ 被害者47人中46人(98%)が女性で、うち36人が未成年者
- ・ 被害者47人のうち中学・高校生が36人(77%)占めて全てが女性・女子高校生34人(72%)、女子中学生が2人(4%)
- ・ 携帯電話を使用した事件が40件と全体の85%を占める

問27 実際に合った人とどのようなことをしましたか

	悩み相談	食 事	カラオケ	ドライブ	異性紹介	その他	総 数
	2	2	4	2	1	1	12
1年生	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	8.3%	8.3%	100.0%
	2	2	1	1	1	1	8
2年生	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	100.0%
	1	1	1	0	1	4	8
3年生	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	50.0%	100.0%
	2	1	2	1	2	2	10
男 子	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	20.0%	20.0%	100.0%
	3	4	4	2	1	4	18
女 子	16.7%	22.2%	22.2%	11.1%	5.6%	22.2%	100.0%
	5	5	6	3	3	6	28
総 数	17.9%	17.9%	21.4%	10.7%	10.7%	21.4%	100.0%

学年の違い、男女の差はあまり見られないが、食事・カラオケ・ドライブ・異性紹介と遊びを共に楽しんでいる。

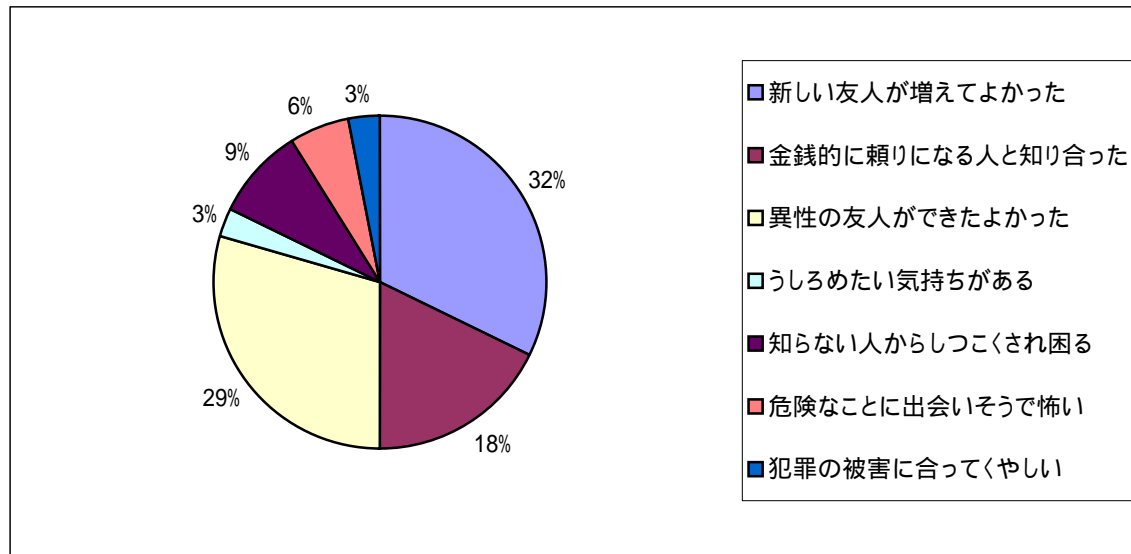
また、悩みの相談も少なくないことから、身近に相談できる相手が少ないということが推量される。

「その他」の内容が懸念される場所である。

問28 「出会い系サイト」を利用して、今どう思っていますか

	そう思う	そう思わない	分からない
新しい友人が増えてよかった	11	4	5
金銭的に頼りになる人と知り合った	6	11	3
異性の友人ができたよかった	10	8	2
うしろめたい気持ちがある	1	14	5
知らない人からしつこくされ困る	3	14	3
危険なことに会いそうで怖い	2	14	4
犯罪の被害に合ってくやしい	1	14	5

実際に「出会い系サイト」を利用して好意的にとらえる者が多いのに驚く。逆に否定的にとらえる者も少数はいる。「うしろめたい気持ちがある」「知らない人からしつこくされ困る」「危険なことに会いそうで怖い」「犯罪の被害に合ってくやしい」の数字からは、「そう思わない」が圧倒的に多い、危機意識の低さが指摘できる。



問29 携帯電話やインターネットの利用について、特に困っていること。(自由記述)

【1年生 男子】

- ・ 料金が高いので安くして欲しい。
- ・ 知らない人からかかってくる事。
- ・ いたずら電話
- ・ 迷惑メールが来る。
- ・ インターネットで知り合った人が集団自殺したことを聞き、IT時代は便利になった反面恐ろしさを感じる。

- ・ ウイルス感染がたまにある。
- ・ インターネットのやりすぎで、目が悪くなった。
- ・ 良い資料と悪い資料があり、犯罪につながるので気をつけている。
- ・ インターネット料金も安くして欲しい。
- ・ 知らない人からメールが来る。
- ・ タイトルが普通でもアダルトに通じるホームページがある。

【1年生 女子】

- ・ 迷惑メールやチェーンメールなどが来る。
- ・ 「出会い系メール」が毎日来る。
- ・ 世界に人々と交流が持てて嬉しいのだけれど、犯罪が多発しているので恐ろしい。
- ・ 携帯電話を親が持たせてくれないこと。
- ・ ワン切りが多い、不明な番号からの着信が怖い。
- ・ 料金が高い。
- ・ 携帯のインターネットは、料金が高い。
- ・ 携帯電話を買うときいちいち先生がからんでくる。携帯電話は、高校に入らないと買ってもらえない。

【2年生 女子】

- ・ 携帯電話でインターネットすると料金が高くなってしまふ。
- ・ 悪質メール、迷惑メール、チェーンメールが来る。
- ・ 夜中のワン切りが多い。
- ・ 料金が高い。
- ・ ウイルス進入防止をソフトにかけておきたいが、方法が分からない。

【2年生 男子】

- ・ 出会い系サイトは、ない方が良く。
- ・ 間違っアクセスした国外のサイトから変なものをインストールしてしまった。

【3年生 男子】

- ・ 字の誤変換で検索するだけで、変なサイトが出てくる。
- ・ 料金が高い。
- ・ インターネットなどの情報に流されることが心配なので多面的に見るようにしている。
- ・ 携帯やインターネットがらみの犯罪が多い。
- ・ たまにフリーズやバグになることがある。

- ・ 危険ではあるが、やはり便利なのでもう少し安全に使えるようにしてほしい。
- ・ 迷惑メールが多い。
- ・ 携帯電話やインターネットを使用する場合は、きちんと考えて使用するべきである。

【3年生 女子】

- ・ ワン切りや迷惑メールが届くこと。
- ・ 着メロがうるさい。
- ・ 迷惑メールが多い。
- ・ チェーンメールが多い。
- ・ アダルトサイトからのメールが来る。
- ・ ダウンロードが遅い。
- ・ 自分の情報が勝手に流されてしまう。
- ・ 知らない人から合コンメールが来る。
- ・ 電車の中で大きい声で話している。
- ・ 便利であるがお金がかかる。
- ・ インターネットのウイルスが心配。

コラム

ここで、「出会い系サイト」を通じて知り合い、実際にその人と会ったと回答した中学生女子4名の調査票の内容を紹介します。

A子(中1女子)

A子は中学1年生になって携帯電話を持つようになった。「友達を持っている」のを見ると、自分も「好きな時いつでもどこでも電話ができる」携帯がほしいと思っていた。携帯を持つことで大人に近づくような「かっこよさ」を感じていた。そんなA子は毎日電話やメールを欠かさない。「友達と遊んでいる時」「家に一人にいる時」「深夜」に使うことが多い。

自分が自由に使える専用パソコンは持っていないものの「ポルノサイト」を携帯やパソコンで「いつも見ている」見ると「興奮する」し「好奇心が満たされる」又「便利な時代になった」とも回答している点が興味深い。

「出会い系サイト」についてA子は「知らない人でもすぐ友人同様の会話ができる」「気楽にいろいろなことが話せて楽しい」「新しい友人を簡単に作るきっかけになる」ととらえており、かなりポジティブな考え方をしている。回答から見る限り「怖さ」や「危険」は全く感じていないようである。

「出会い系サイト」にA子がアクセスしたのは「友人と遊び半分」「面白そうだったから」という気軽な理由と「お金がほしかったから」という、生々しい理由を挙げている。このサイトを「業者からのメール」や「友人から教えてもらった」こともあるが「雑誌で見た」、「自分で調べて」と自らアクションをおこしている行動派でもある。

現在まで携帯から21回以上このサイトを利用している。相手に実際に会ったことも複数回ある。同性で(女性)50歳代の人とカラオケに行った。「出会い系サイト」で「新しい友人が増えてよかった」「金銭的に頼りになる人と知り合えてよかった」「異性の友人ができた」と高く評価している。しかしその反面、「知らない人からしつこくされて困っている」「危険なことに会いそうになって怖い」と危惧も抱いている。いつ犯罪に巻き込まれても不思議でない危うさをA子に感じるのは私だけであろうか。

B子(中1女子)

「小学校4年生以前」と回答者中最も早期に携帯電話を持ったのはB子である。親から「緊急の時に役立つ」からと「親との連絡のために持たされた」ものである。毎月5000円以内の利用料金で一部は親の支払いによっている。B子自身この料金は他の友人たちよりも「少ない」と思っている。電話は週3回程度であるがメールは毎日発信する。携帯を「家に一人でいるとき」「深夜」又「出かけているとき」に使うことが多い。「友人とメール」もよくやりとりし、「家族との連絡やおしゃべり」にも愛用している。「音楽」をダウンロードして聴く楽しみも持っている。

B子は携帯に対する規範意識調査項目で「授業中」や「コンサートや美術館で電源を切らないこと、マナーボタンを操作しないこと」又「電車、バスなどの公共の『車中でメールを送信すること』『テレフォンクラブに電話をかけること』をいけないこと」とらえている。

パソコンは家族の居間にあるが自分で自由に使う。このパソコンを使ってよくすることは「ワープロ機能を使って文章を書く」ことであり時々「インターネットで情報を集め」たり「ゲーム」を楽しむこともある。

B子は携帯とパソコンの両方でインターネットを利用しているが両方でポルノサイトを「1、2度」見たことがある。「変な時代になったと思った」と感想を記している。

「出会い系サイト」に関しては「知らない人との会話だからちょっと怖いこともあると思う」「犯罪の被害にあうこともあり危険だと思う」と認識している。

しかし「暇だったから」「面白そうだから」というひまつぶしの遊び感覚で携帯から「出会い系サイト」にアクセスして現在までに「21回以上」にわたり利用している。その相手の男性と「複数回」会ったこともあり、その中で1番年齢の高い人は30歳代の男性であった。そのとき「食事」や「カラオケ」「ドライブ」を共にした。B子は「新しい友人が増えてよかった」「金銭的に頼りになる人と知り合えてよかった」「異性の友人ができてよかった」との感想を持っており、「後ろめたい気持ち」は特に感じていない。「危険なことに会いそうになって怖い」という怖れも抱いていないB子は現在まで「犯罪の被害」にはあってやらず幸運であったといわざるを得ない。このまま被害にあうまでどんどん深みにはまってしまうのであろうか。

C子(中1女子)

中学1年生のC子が使う毎月の携帯電話利用料金は「3万円以上」である。勿論、「全額親に支払」ってもらっている。しかし自分の利用料金はこれでも「他の人より」むしろ「少ない」位だと思っている。毎日電話をかけメールも送る。「学校の行き帰り」や「休み時間」「授業中」でも先生に隠れて使っている。家では「一人有的时候」「深夜」に使うことが多い。利用方法としては「友人との連絡やおしゃべり」「インターネットを利用して情報を集める」「音楽を聴く」ことが多いが「知らない人とのチャットを楽しむ」んだり「テレフォンクラブにかける」こともよくあると回答している。「家族との連絡やおしゃべり」には使わ「ない」と割り切っている。

自由に使えるパソコンを自室に所有しているC子はパソコンのあらゆる機能を使いこなしているようだ。「パソコンで何をしているか」という問いかけに全項目「よくある」と回答しているからである。インターネットは携帯、パソコン両方を使っており両方からポルノサイトを「いつも見ている」その感想を「好奇心が満たされた」と率直にのべている。

「出会い系サイト」に対して「すごくいいことだと思う」と記し「自分で調べて」「21回以上」アクセスする積極的なC子である。「ひま」だし「おもしろそう」だし「お金がほしかった」ことを理由に男性女性合わせて「複数回」会った経験を持つ。30歳代の人が一番年齢が高かったようである。「自分の悩みを相談」し「食事」「カラオケ」「ドライブ」をした。「異性を紹介」されたこともある。会った後の感想として「異性の友人ができてよかった」「新しい友人がふえてよかった」「金銭的に頼りになる人と知り合えてよかった」と思っている。今まで「危険なことに出会」わなかったし「犯罪の被害にもあっていない」特に困っていることを自由に書く欄には「困ってないよー??」このあっけらかんとした印象のC子も又中学1年生である

D子(中2女子)

現在中学2年生のD子は今年になって携帯電話を持った。「好きなときに好きな場所で電話ができる」利便性にひかれたし「親の束縛を受けずに電話やメールができる」ことに魅力を感じた。「友人とのメールのやりとり」もしたかったが「知らない人とのメール交換ができる」と思ったとも答えている。この回答はその後のD子の行動を暗示しているかのようである。毎日の使用料金は「5,000から7,000円で」全額を親が負担している。この金額は「友人たちと同じくらい」だと思っている。携帯は週一回くらいしかかけないがメールは毎日送る。「学校への行き帰り」「友達と遊んでいる時」又「深夜」誰にも気兼ねせず使うことが多い。

「友人とのメールのやりとり」や「友人」「家族」など身近な人たちとの「連絡やおしゃべり」というコミュニケーションツールとしての利用も日常化している反面「知らない人とのチャット」もおおいに楽しんでいる。時々「テレフォンクラブ」に電話を掛けたり「掲示板への書き込み」もする。D子自身心の中に「知らない人からのメールに気軽に返事を出す」ことは「いけない」という規範意識があるにもかかわらず、やめられないでいる。

家族の居間に自由に使えるパソコンがあり、これからインターネットを利用し「情報収集」したり「ゲームをする」ことが多い。「1、2度」携帯から「ポルノサイト」を見たD子は「興奮した」と正直な感想を記している。「出会い系サイト」に対しては「知らない人でもすぐ友人同様の会話ができ」「知らない人だから気楽」「新しい友人を作るきっかけになる」と思っており「自分さえしっかりしていれば怖いことはない」という認識である。

「雑誌」で情報を得たD子は「出会い系サイト」に携帯からアクセスしてみた。「遊び友達」や「お金」がほしかったからである。

今まで「2～5回くらい」利用し「複数回」男性と実際に会った。中には自分の父親と同じ、もしくはそれ以上の40歳代の男性もいた。「食事」「カラオケ」をしD子は「金銭的に頼りになる人と知り合えてよかった」とのみ感想を記している。後ろめたい気持ちも感じていない。又他の女子のように「新しい友人」「異性の友人ができてよかった」とも思っておらず、あくまで相手を「金銭を出してくれる人」というとらえ方をしていることが特筆すべき点であろう。

あ と が き

宮城県PTA連合会健全育成委員会
委員長 佐々木 靖子

テレビ映像受信やカード決済等、近年携帯電話の機能は益々多様化を極め、私達の想像を越えた多方面に展開する時代となりました。一方、学校教育の現場では積極的にパソコン等の情報手段を取り入れ、もはや欠かすことのできない教材のひとつに挙げられています。

社会の様々な分野で急激に情報化が進むなか、私達の生活に急速度で受け入れられてきた両者は、インターネットに接続することにより瞬時に未知の世界にアクセスできるというすばらしい利便性を有しています。しかし昨今の全国的に多発するインターネット関連事件を見ると、この利便さの陰に数々の危険性を併せ持つ極めて危うい道具でもあるということを感じずにはいられません。

友人はほしい、しかし複雑な人間関係は面倒で苦手、本当に相手のことを思い忠告してあげる程のつきあいは望まないけれどいつも誰かと繋がっていたい。そんな人達にとってメールは自分の不安や劣等感を一時的に解消してくれる最適なコミュニケーションツールです。勿論多くの利用者は親、兄弟姉妹、友人等とメールの利点をうまく駆使し日常生活に生かしながら生活しています。しかし現実から少し離れてバーチャルな関係に夢を抱く子ども達も益々増加の傾向にあります。見知らぬ相手とのチャットや掲示板への書き込みから始まり、のめりこんでしまうことも多いようです。ネットでは「匿名性」と「親密さ」の両立が可能な為、ついつい夢中になってしまう心地よさが潜んでいるためでしょうか。

今回のアンケート調査で、有害サイトとして「出会い系サイト」「ポルノサイト」を取り上げてみましたが、有害サイトと称されるものは他にも暴力、自殺等々数多く存在します。このようなサイトが決して特別なことでなく、子ども達が日常的に使用するインターネットの中にごく普通に存在するという事実を私達は再認識する必要があります。

「出会い系サイト」へのアクセス状況をどうごらんになりましたか。少数ながらもかなりのめりこんでいる子ども達の存在が浮き彫りになっていることにお気づきでしょうか。「ひま」「おもしろそう」「友人がやっている」等の遊び半分の暇つぶし感覚で、また「お金がほしい」「友達がほしい」と気軽にアクセスしています。実際に相手と会い「食事」「カラオケ」「ドライブ」等を楽しんだ後の感想、として「後ろめたい」とか「危険で怖い」と否定的なものは少なく「友人、異性の友達ができてよかった」と好意的に捉えており危機意識の低い現代っ子気質、ひいては規範意識の稀薄な世相を反映しているように思われ一抹の危惧を感じました。

今後益々携帯電話やパソコンは私達の日常生活に不可欠なものになっていくことでしょう。携帯電話に関しては「持たせたくない親」が多い反面「持たせて安心したい親」も多いという結果が出ています。しかし持たせるだけでは決して安心ではないことに気づくべきです。多くの親はどちらかといえば携帯電話やパソコンの操作方法や機能に疎く、使用上のエチケット、注意などを充分教えないまま与えてしまっているのではないのでしょうか。情報社会に生きていく為には自分にとって大事な情報、必要な情報、正しい情報は何かを見極め、取捨選択していく力を身につけることの重要性を子ども達に教えることが大切です。与えた後も生活態度の変化や利用状況に関心を持ち、見守っていく姿勢が必要だと痛感しました。又、有害サイトを閲覧できないよう設定したり、悪質業者からのメール受信を制限するフィルタリング機能についても積極的に勉強し最大限有効に活用することもひとつの策といえましょう。万が一、興味本位でアクセスすることがあっても深入りすることなく引き返せる子どもに育てて欲しいと願います。その為には目頃から密に接するように心がけ、多くの会話を持つなかで「いけないものはいけない」という規範意識をしっかりと身につかせ健全に成長できる環境を整えてやるのが親、ひいては家庭の役割でもあると感じました。

最後になりましたが、今回の調査の主旨をあたたくご理解下さり、アンケートにご協力賜りました各中学校様に心より御礼を申し上げます。

発行：宮城県PTA連合会

責任者 会長 勅使瓦 正樹

〒983-0836 宮城県仙台市宮城野区幸町四丁目5-1

宮城県青年会館内

電話 022(295)9581・9590

FAX 022(256)0425

企画・編集：健全育成委員会

メンバー 委員長：佐々木 靖子

副委員長：岡崎 元明 飯田 敏巳

委員：志賀 重信 遠藤 定信

菅野 善史 佐々木 泰美

三浦 仁孝

担当副会長：星 守夫 早坂 廣輝

協力副会長：三浦 悟

事務局長：玉田 豪芳

事務局職員：浅野 和子 丹野 妙子